

学校コード F117110105393  
注3

設置年度 令和 3年度  
計画の区分： 学部の学科の設置  
注1

**意見伺い**

注2  
金沢大学 融合学域 先導学類

**【意見伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書  
(改正前大学設置基準適用)**

国立大学法人金沢大学  
令和5年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	企画評価室
職名・氏名	センモツヨクインコジマ オオト 専門職員 小島 直人
電話番号	076-264-5020
（夜間）	076-264-5020
e-mail	g1kikaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

( ) 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

## 融合学域

＜先導学類＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	21
4. 既設大学等の状況	22
5. 教員組織の状況	24
6. 附帯事項等に対する履行状況等	46
7. その他全般的事項	51

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人金沢大学

## (2) 大学名

金沢大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒920-1192

石川県金沢市角間町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(ヤマザキ コウエツ) 山崎 光悦 (平成26年4月)	(ワダ タカシ) 和田 隆志 (令和4年4月)	令和4年3月31日付けで山崎光悦学長が任期満了で退任し、和田隆志学長が就任(4)
学部長	(オオタケ シゲキ) 大竹 茂樹 (令和3年4月)		
学科長等	(オジマ キョウコ) 尾島 恭子 (令和3年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)  
令和5年度に報告する内容 → (5)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
融合学域 先導学類 学士(学術)	経済学関係 社会学・社会福祉学関係 工学関係 保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	4年	55人	2年次 人 3年次 25人 4年次 人	270人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A	入学定員	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	55 (25) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	55 (25) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	55 (25) [ ] [ ]	1.04倍	倍	0.93倍	-	「理系後期一括」及び「文系後期一括」入試による入学者を按分して計上している。	
	志願者数	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	174 ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	149 ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	96 (12) [ ] [ ]						
	受験者数	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	160 ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	135 ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	89 (12) [ ] [ ]						
	合格者数	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	62 ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	61 ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	59 (11) [ ] [ ]						
B	入学者数	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	61 ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	57 ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	55 (10) [ ] [ ]						
	入学定員超過率 B/A								1.10		1.03		1.00						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、**編入学の状況について外数で記入**してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ **編入学生は記入しないでください。**
- ・ [ ]内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。
- ・ また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで**記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
- ・ 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
- ・ なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・ なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで**記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- ・ なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	55 ( )	- ( )	51 ( )	- ( )	49 ( )	- ( )	2年次在学者の異動前の所属内訳は、総合教育部6名、医薬保健学 域保健学類1名。 3年次在学者の異動前の所属内訳は、総合教育部6名。
2 年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	- ( )	- ( )	57 ( )	- ( )	55 ( )	- ( )	
3 年次			/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	- ( )	- ( )	- ( )	- ( )	
4 年次	/						/		- ( )	- ( )	- ( )	- ( )	
計			[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )			[ ] ( )	55 ( )	- ( )	108 ( )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	61 人	4 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	(記入例) 就学意欲の低下(5人)、他の教育機関への転学(2名) [就職(1人)、除籍(2人)]
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	4 人	0 人	転学類(4人)
令和4年度	108 人	3 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	3 人	0 人	転学類(3人)
令和5年度	171 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		7 人		7 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{61} = \boxed{6.55} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{108} = \boxed{2.77} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{171} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<融合学域 先導学類>

(1) - ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任			
			必修	選択	自由	専修	専任	准専任	助教	助手				
共通教育科目	導入科目	大学・社会生活論 初學者ゼミⅠ データサイエンス基礎 地域概論	1① 1① 1① 1②	1 1 1 1	1 1 1 2	0 0 0 0	1 1 1 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 1 1 0				
	GS科目	置1を知らるる(自己の立ち位置)	現代世界への歴史学的アプローチ グローバル時代の政治経済学 グローバル時代の社会学 ケーススタディによる応用倫理学 地球生物圏と人間 物理の世界 化学の世界	1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1②・④ 1①・②・③・④	1 1 1 1 1 1 1			1			兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1			
		置2を知らるる(自己を認識)	哲学(自我論) パーソナリティ心理学 グローバル時代の文学 健康科学 細胞・分子生物学 エクササイズ&スポーツ 実技	1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④	1 1 1 1 1 1		1			兼1 兼1 兼1 兼2 兼2				
		置3を表現する(考える・価値観)	フレンジー・ディベート論(初學者ゼミⅡ) クリティカル・シンキング 価値と情動の認知科学 論理学から見る世界 数学的発想法 芸術と自己表現 スポーツ科学	1② 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④	1 1 1 1 1 1 1	1	1			1	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1			
置4を世界とつながる		金沢・能登と世界の地域文化 日本史・日本文化 異文化間コミュニケーション 異文化体験A 異文化体験B 異文化体験C 異文化体験D 異文化体験E 異文化体験F 異文化体験G 異文化体験H 国際社会とボランティア グローバル社会と地域の課題	1②・③・④ 1②・③・④ 1①・②・③・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1①・② 1①・②・③・④	1 1 1 1 2 3 4 5 6 7 8 1 1						兼1 兼3 兼1 兼2 兼2 兼2 兼2 兼2 兼2 兼2 兼2 兼1 兼1				
置5を未来の課題に取り組む		科学技術と科学方法論 統計学から未来を見る 情報の科学 環境学とESD 生活と社会保障 人権・ジェンダー論	1①・②・③・④ 1①・②・③ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1②・③・④	1 1 1 1 1 1		1			兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1					
小計(39科目)			1	66	0	2	2	0	1	0	兼31			
GS言語科目(英語)		TOEIC準備Ⅰ TOEIC準備Ⅱ TOEIC準備Ⅲ TOEIC準備Ⅳ TOEIC準備(演習) English for Academic PurposesⅠ English for Academic PurposesⅡ English for Academic PurposesⅢ English for Academic PurposesⅣ English for Academic Purposes(Retake)	1① 1② 1③ 1④ 2①・②・③・④ 1① 1①・② 1③ 1④ 2①・②・③・④	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1		
		GS言語科目(日本語)	アカデミック基礎日本語A アカデミック基礎日本語B 講義の聴解A 講義の聴解B 口頭発表ⅠA 口頭発表ⅠB 口頭発表ⅡA 口頭発表ⅡB 上級読解ⅠA 上級読解ⅠB 上級読解ⅡA 上級読解ⅡB 日本語で学ぶ論理A 日本語で学ぶ論理B 日本事情A 日本事情B アカデミック・ライティングA アカデミック・ライティングB	1① 1② 1①・③ 1②・④ 1① 1② 1③ 1④ 1① 1② 1③ 1④ 1③ 1④ 1①・③ 1②・④ 1①・③ 1②・④ 1①・③ 1②・④	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
			小計(28科目)			10	18	0	0	0	0	0	0	兼10

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任			
			必修	選択	自由	専修	専任	准専任	助教	助手				
共通教育科目	導入科目	大学・社会生活論 データサイエンス基礎 地域概論	1① 1① 1②	1 1 1	1 1 2	0 0 0	1 1 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0				
	GS科目	置1を知らるる(自己の立ち位置)	現代世界への歴史学的アプローチ グローバル時代の政治経済学 グローバル時代の社会学 ケーススタディによる応用倫理学 地球生物圏と人間	1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④	1 1 1 1 1			1			兼1 兼1 兼1 兼1 兼1			
		置2を知らるる(自己を認識)	哲学(自我論) パーソナリティ心理学 グローバル時代の文学 健康科学 細胞・分子生物学 エクササイズ&スポーツ 実技	1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④	1 1 1 1 1 1		1			兼1 兼1 兼1 兼2 兼2				
		置3を表現する(考える・価値観)	クリティカル・シンキング 価値と情動の認知科学 論理学から見る世界 数学的発想法 芸術と自己表現 スポーツ科学	1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④	1 1 1 1 1 1						兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1			
置4を世界とつながる		金沢・能登と世界の地域文化 日本史・日本文化 異文化間コミュニケーション 異文化体験A 異文化体験B 異文化体験C 異文化体験D 異文化体験E 異文化体験F 異文化体験G 異文化体験H グローバル時代の国際協力 グローバル社会と地域の課題	1②・③・④ 1②・③・④ 1①・②・③・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1①・② 1①・②・③・④	1 1 1 1 2 3 4 5 6 7 8 1 1						兼1 兼3 兼1 兼2 兼2 兼2 兼2 兼2 兼2 兼2 兼2 兼1 兼1				
置5を未来の課題に取り組む		科学技術と科学方法論 統計学から未来を見る 情報の科学 環境学とESD 生活と社会保障 現代社会と人権	1①・②・③・④ 1①・②・③ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④	1 1 1 1 1 1		1			兼1 兼1 兼1 兼1 兼1					
置6を生かす(新しい社会)		インテグレートド科学 AI入門 情報の科学 デザイン思考入門 論理学と数学の基礎	1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④	1 1 1 1 1				1		兼1 兼1 兼1 兼1 兼1				
小計(38科目)			1	66	0	0	3	0	1	0	兼31			
GS言語科目(英語)		TOEIC準備Ⅰ TOEIC準備Ⅱ TOEIC準備Ⅲ TOEIC準備Ⅳ TOEIC準備(演習) English for Academic PurposesⅠ English for Academic PurposesⅡ English for Academic PurposesⅢ English for Academic PurposesⅣ English for Academic Purposes(Retake)	1① 1② 1③ 1④ 2①・②・③・④ 1① 1①・② 1③ 1④ 2①・②・③・④	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1		
		GS言語科目(日本語)	アカデミック基礎日本語A アカデミック基礎日本語B 講義の聴解A 講義の聴解B 口頭発表A 口頭発表B 上級読解ⅠA 上級読解ⅠB 上級読解ⅡA 上級読解ⅡB 日本語で学ぶ論理A 日本語で学ぶ論理B 日本事情A 日本事情B アカデミック・ライティングA アカデミック・ライティングB	1① 1② 1①・③ 1②・④ 1①・③ 1②・④ 1① 1② 1③ 1④ 1③ 1④ 1①・③ 1②・④ 1①・③ 1②・④	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
			小計(28科目)			10	18	0	0	0	0	0	0	兼10





科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
通教育科目	スペイン語B-1	2①								兼1
	スペイン語B-2	2②								兼1
	スペイン語C-1	2③								兼1
	スペイン語C-2	2④								兼1
	小計(72科目)	—	0	72	0	0	0	0	0	0
自由履修科目	アントレプレナーシップ I	1①								兼1
	里山里海体験実習 in 能登半島	1①・②								兼1
	里山概論	1①・②								兼1
	石川県の行政	1③～④								兼1
	石川県の市町	1①～②								兼1
	健康論実践D	1④								兼1
	健康論実践E	1④								兼1
	現代社会における保険の制度と役割	1③～④								兼1
	ジャーナリズム論	1④								兼1
	実践アントレプレナー学	1③								兼1
	クラウド時代の「ものグラミング」概論	1①～②								兼1
	シェルスクリプト言語論	1①～②								兼1
	地元学A(地域資源調査)	1①								兼1
	地元学B(聞き書き)	1②								兼1
	シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習	1②								兼1
	世界農業遺産「能登の里山里海」とSDGsを考察するスタディ・ツアー	1①・②								兼1
	イノベーションを起こして、起業家になろう1	1①								兼1
	イノベーションを起こして、起業家になろう2	1②								兼1
	イノベーションを起こして、起業家になろう3	1③								兼1
	イノベーションを起こして、起業家になろう4	1④								兼1
	香りと日本文化	1②								兼1
	心と体の健康A	1③								兼1
	心と体の健康B	1④								兼1
	地域「超」体験プログラム	1①・②・③・④								兼1
	ひとのからだ1	1①								兼1
	ひとのからだ2	1②								兼1
	ひとのからだ3	1③								兼1
	ひとのからだ4	1④								兼1
	道徳教育および宗教教育をグローバルに考える	1④								兼1
	金沢の歴史と文化	1③～④								兼1
	日本の伝統芸能1	1①								兼1
	日本の伝統芸能2	1②								兼1
	多民族・多文化共生の未来を探る	1①								兼1
	地域創造学特別講義C	1③								兼1
	地域創造学特別講義D	1④								兼1
	日本国憲法概説	1③								兼1
	日本史要説	2①～②								兼1
	東洋史要説	2①～②								兼1
	異文化理解のためのビデオ会議ディスカッション	1③								兼1
	行政学の基礎	1①								兼1
	ガラスとクリスタル I	1②								兼1
	ガラスとクリスタル II	1③								兼1
	ゼミ/角間の里山づくり 春編	1①								兼1
	ゼミ/角間の里山づくり 秋編	1③								兼1
	コーヒーと社会	1③								兼1
コーヒーと科学	1④								兼1	
地学実験	1②～③								兼1	
生物学実験	1①～②								兼1	
海洋生化学演習	1①								兼1	
英国諸島の地史 I	1②								兼1	
英国諸島の地史 II	1③								兼1	
環境動態学概説 I	1③								兼1	
環境動態学概説 II	1④								兼1	
Pythonデータ分析入門	1③								兼1	
プレゼンテーション演習A	1③								兼1	
プレゼンテーション演習B	1④								兼1	
コンピュータグラフィックス演習I	1③								兼1	
コンピュータグラフィックス演習II	1④								兼1	
動画配信サービスを用いた情報発信演習A	1①								兼1	
動画配信サービスを用いた情報発信演習B	1②								兼1	
プログラミング演習I	1③								兼1	
プログラミング演習II	1④								兼1	
Society5.0概論	1③～④								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		
通教育科目	スペイン語B-1	2①								兼1	
	スペイン語B-2	2②								兼1	
	スペイン語C-1	2③								兼1	
	スペイン語C-2	2④								兼1	
	日本語A1-1	1①								兼1	
	日本語A1-2	1②								兼1	
	日本語A2-1	1①								兼1	
	日本語A2-2	1②								兼1	
	日本語A3-1	1③								兼1	
	日本語A3-2	1④								兼1	
	日本語A4-1	1③								兼1	
	日本語A4-2	1④								兼1	
	小計(80科目)	—	0	80	0						兼10
	自由履修科目	石川県の行政	1③～④								兼1
		石川県の市町	1①～②								兼1
健康論実践D		1④								兼1	
健康論実践E		1④								兼1	
現代社会における保険の制度と役割 I		1③								兼1	
現代社会における保険の制度と役割 II		1④								兼1	
クラウド時代の「ものグラミング」概論		1③～④								兼1	
シェルスクリプト言語論1		1①～②								兼1	
シェルスクリプト言語論2		1③～④								兼1	
キャリアデザインコーチング		1①								兼1	
地域協創のアンテナ		1②								兼1	
シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習A		1②								兼1	
シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習B		1③								兼1	
イノベーションを起こして、起業家になろう1		1①								兼1	
イノベーションを起こして、起業家になろう2		1②								兼1	
イノベーションを起こして、起業家になろう3		1③								兼1	
石川未来プロジェクト I		1②								兼1	
石川未来プロジェクト II		1④								兼1	
心と体の健康A		1③								兼1	
心と体の健康B		1④								兼1	
未来デザインプラクティス		1①・②								兼1	
道徳教育および宗教教育をグローバルに考える		1④								兼1	
金沢の歴史と文化		1③～④								兼1	
日本の伝統芸能		1②								兼1	
地域創造プロジェクト-講義C		1③								兼1	
社会実装から学ぶ循環経済	1②								兼1		
日本国憲法概説	1③								兼1		
日本史要説	2①～②								兼1		
東洋史要説	2③～④								兼1		
ソーシャルビジネス概論	1①								兼1		
行政学の基礎	1①								兼1		
ゼミ/角間の里山づくり 春編	1①								兼1		
ゼミ/角間の里山づくり 秋編	1③								兼1		
コーヒーと社会	1③								兼1		
コーヒーと科学	1④								兼1		
地学実験	1②～③								兼1		
生物学実験	1①～②								兼1		
海洋生化学演習	1①								兼1		
地域創造学特別講義C	1③								兼1		
社会実装から学ぶ循環経済	1②								兼1		
ローカルキャリアデザイン I	1②								兼1		
ローカルキャリアデザイン II	1③								兼1		
環境動態学概説 I	1③								兼1		
環境動態学概説 II	1④								兼1		
Pythonデータ分析入門	1③								兼1		
プレゼンテーション演習A	1③								兼1		
プレゼンテーション演習B	1④								兼1		
Unityゲーム開発演習	1③								兼1		
リアルタイムVFX演習	1④								兼1		
動画配信サービスを用いた情報発信演習A	1①								兼1		
動画配信サービスを用いた情報発信演習B	1②								兼1		
地域のトッパーダーを築く I	1①								兼1		
地域のトッパーダーを築く II	1②								兼1		
シェルスクリプトを用いた「大規模データ処理	1②								兼1		
シェルスクリプトを用いた「大規模データ処理	1③								兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
育科目	英語セミナー	1①・2③・4	1								兼1	
	ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界1	1③	1								兼1	
	ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界2	1④	1								兼1	
	ドイツ語A(充実クラスⅠ-1)	1③	1								兼1	
	ドイツ語A(充実クラスⅠ-2)	1④	1								兼1	
	ドイツ語A(充実クラスⅡ-1)	1③	1								兼1	
	ドイツ語A(充実クラスⅡ-2)	1④	1								兼1	
	フランス語A(充実クラスⅠ-1)	1③	1								兼1	
	フランス語A(充実クラスⅠ-2)	1④	1								兼1	
	フランス語A(充実クラスⅡ-1)	1③	1								兼1	
	フランス語A(充実クラスⅡ-2)	1④	1								兼1	
	中国語A(充実クラスⅡ-1)	1③	1								兼1	
	中国語A(充実クラスⅡ-2)	1④	1								兼1	
	小計(76科目)	—	—	0	91	0	2	0	0	0	0	兼34
共通教育科目計(237科目)			—	15	267	0	6	2	0	1	0	兼81
専門教育科目	学域GS科目	イノベーション基礎	1③	1			1					
		数理・データサイエンス基礎及び演習	1③	1			2					
		小計(2科目)	—	2	0	0	3	0	0	0	0	—
		学域GS言語科目Ⅰ/海外実践英語	2①・②	1			1					
	学域GS言語科目Ⅱ/時事・学術英語	3①・②	1			1						
	小計(2科目)	—	2	0	0	0	1	0	0	0	—	
	先導実践科目	アントレプレナー基礎	1①	1			1					兼2
		アントレプレナー演習Ⅰ	2①	2			1	1				
		アントレプレナー演習Ⅱ	2②	2			1	1				
		デザイン思考	1④	1			1	1				
		デザイン思考演習	2①	2			1	1				
		アントレプレナーインターンシップ	2④	2			1					
		アントレプレナーコンテスト/リーダー養成	3②	1								兼1
		アントレプレナーコンテスト/実践リーダー	4②	1								兼1
小計(8科目)	—	12	0	0	2	1	1	1	0	兼2		
先導コア科目	社会循環コアエリア	AIと未来社会	2②	1			1					
		シェアリングエコノミー	2④	1								
		現代社会を知る	2①	1			4		1			
		社会変動と労働生産性	2②	1			1	1	1			
		フィンテック基礎とビジネス応用	2①	1								
		超スマートシティと Society5.0	2②	1			1		1			
		消費生活論	2④	1			1					
	倫理学	2③	1				1					
	ファイナンス基礎	1③	1								兼1	
	世界共創コアエリア	異文化理解とキャリア開発	2③	1			1					兼1
		国際世界と特許	2③	1			1					兼1
		グローバルイノベーション	2④	1			1		1			兼1
		ダイバーシティ促進	2①	1					1			兼1
		国際協力体制	2②	1			3					兼1
人の流動と定着		2②	1			2					兼1	
ビジネスと政治		2④	1			1					兼1	
SDGs基礎	2③	1			1		1			兼1		
マーケティング基礎	2①	1			1		1			兼1		
科学創発コアエリア	社会的な視点から見る医療	2③	1			2		1			兼1	
	生命科学的な視点から見る医療	2④	1			2		1			兼1	
	未来医学	2④	1			1					兼1	
	人工知能	2①	1			1					兼1	
	世界の課題と技術トレンド	2③	1			1		1			兼1	
	IoT技術	2③	1			1		1			兼1	
	数理統計学基礎	2②	1			1					兼1	
世界変革技術論	2①	1			1		1			兼1		
テクノロジー基礎	1④	1			1		1	2		兼1		
小計(27科目)	—	—	0	27	0	9	6	1	3	0	兼6	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助			
育科目	英語セミナー	1①・2③・4	1									兼1	
	文学創作実践	1③	1									兼1	
	学域横断的プロジェクト入門	1④	1									兼1	
	ドイツ語A(充実クラスⅠ-1)	1③	1								兼1		
	ドイツ語A(充実クラスⅠ-2)	1④	1								兼1		
	ドイツ語A(充実クラスⅡ-1)	1③	1								兼1		
	ドイツ語A(充実クラスⅡ-2)	1④	1								兼1		
	フランス語A(充実クラスⅠ-1)	1③	1								兼1		
	フランス語A(充実クラスⅠ-2)	1④	1								兼1		
	フランス語A(充実クラスⅡ-1)	1③	1								兼1		
	フランス語A(充実クラスⅡ-2)	1④	1								兼1		
	中国語A(充実クラスⅡ-1)	1③	1								兼1		
	中国語A(充実クラスⅡ-2)	1④	1								兼1		
	小計(68科目)	—	—	0	81	0	2	0	0	0	0	兼32	
共通教育科目計(231科目)			—	13	259	0	6	3	0	1	0	兼39	
専門教育科目	学域GS科目	アカデミックスキル	1①	1			2					兼1	
		プレゼン・ディベート論	1②	1			2					兼1	
		イノベーション基礎	1③	1			1						
		数理・データサイエンス基礎及び演習	1③	2			1					兼1	
		デザイン思考	1④	1			1			1		兼1	
	小計(5科目)	—	6	0	0	3	0	0	1	0	兼2		
	言語領域科目S	学域GS言語科目Ⅰ/海外実践英語	2①・②	1			1						
		学域GS言語科目Ⅱ/時事・学術英語	3①・②	1			1						
	小計(2科目)	—	2	0	0	0	1	0	0	0	—		
	実践科目	アントレプレナー基礎	1①	1			1						
		アントレプレナー演習Ⅰ	2①	2			1			1			
		アントレプレナー演習Ⅱ	2②	2			1			1			
		デザイン思考演習	1④	1			1			1			
		アントレプレナーインターンシップ	2④	2			1			1			
アントレプレナーコンテスト/リーダー養成		3②	1								兼1		
アントレプレナーコンテスト/実践リーダー		4②	1								兼1		
小計(7科目)		—	10	0	0	3	0	0	1	0	兼1		
専門基礎科目		社会循環コアエリア	AIと未来社会	2②	1			1					
			シェアリングエコノミー	2④	1								
	現代社会を知る		2①	1			3		1			兼1	
	社会変動と労働生産性		2②	1			1	1	1	1		兼4	
	フィンテック基礎とビジネス応用		2①	1								兼1	
	超スマートシティと Society5.0		2②	1			1		1			兼2	
	消費生活論		2④	1			1		1				
	倫理学	2③	1				1						
	ファイナンス基礎	1④	1								兼1		
	世界共創コアエリア	異文化理解とキャリア開発	2③	1			1					兼1	
		国際世界と特許	2③	1			1					兼1	
		グローバルイノベーション	2④	1			1		1			兼1	
		ダイバーシティ促進	2①	1					1			兼1	
		国際協力体制	2②	1			3					兼1	
人の流動と定着		2②	1			2					兼1		
ビジネスと政治		2④	1			1					兼1		
SDGs基礎	2③	1			1		1			兼1			
マーケティング基礎	2①	1			1		1			兼1			
科学創発コアエリア	社会的な視点から見る医療	2③	1			2		3			兼1		
	生命科学的な視点から見る医療	2④	1			2		3			兼1		
	未来医学	2④	1			1		1			兼1		
	人工知能	2①	1			1			1		兼1		
	世界の課題と技術トレンド	2③	1			1		1			兼1		
	IoT技術	2③	1			1		1			兼1		
	数理統計学基礎	2②	1			1					兼1		
世界変革技術論	2①	1			1		1			兼1			
テクノロジー基礎	1④	1			1		1	2	1	兼1			
小計(27科目)	—	—	0	27	0	11	6	1	1	0	兼19		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	その他	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	先導学知科目	マーケティング論	3①	2	1	1							
		経営管理論	3①	2	1	1					兼1		
		国際経営論	3③	2	2						兼1		
		管理会計論	3③	2	2						兼1		
		ESG投資	3②	1	1						兼1		
		生活デザイン論	3②	1	1	1							
		創業支援論	3①	1	1	1							
		知的財産法	3②	2	1	1							
		イノベーション・マネジメント	3④	1	1	1							
		需要予測	2④	1	2								
		情報ネットワーク	3①	1	1						兼1		
		データベース論	3③	1		1							
		プレゼンテーション	3③	1							兼1		
		テクノロジーと医療・健康・介護	3③	1	1	1							
		プランニング最適化	3③	1							兼1		
		比較制度論	3③	1	1	1							
		地域政策論	3③	1	1	1							
		生活環境学	3②	1	1	1							
		心理学概論	3①	1	1						兼1		
		公共政策論	3①	1							兼1		
		レギュラトリーサイエンス	3④	1	1	1		1					
		未来型ヘルスケアシステム	3④	1	1	1							
		都市・交通デザイン	2④	1	1	1							
		プロジェクト・マネジメント	3①	1	1	1							
		超高齢化社会と科学技術	3②	1	1	1							
		地域包括ケアと地方創生	3②	1	1	1							
		経営戦略論	3②	2	2						兼1		
		医療制度改革と医療経済	3①	2	2		1	1					
		アプリ開発	3②	1	1	1							
		機械学習	3③	1	1	1							
		先導数学	2④	2	1								
		データサイエンス実践	3④	1	1	1					兼1		
		先端医学	2④	1	1	1							
		AI・IoT健康福祉学	3④	1	1	1							
		センシング論	3①	2							兼1		
		マテリアル科学	3②	1		1				1			
		光学技術論	3③	1							兼1		
		フィジカル・ブレイン接続	3④	1	1	1							
		コンピュータとデジタル回路	3①	1	1	1							
		コンピュータと電子回路	3④	1	1	1							
		地球環境論	3③	2							兼1		
		環境基礎科学	3④	1	1	1				1			
		プログラミングスキル	2④	1	1	1							
		SDGs実践	2④	1	1	1							
	小計(44科目)	—	0	54	0	13	2	0	2	0	兼13		
専門教育科目	先導鍛錬科目	学術探究	4①	1	1	2	1						
		潜在課題探査分析演習	3④	1	1	1	1	1					
		先導プロジェクト演習	4①~③	2			13	5					
		海外実践留学	3③~④	1			1						
		国際インターンシップ	3③~④	1			1						
	小計(5科目)	—	2	4	0	13	6	0	1	0	—		
先導確立科目	先導研究	4①~④	8		2								
	先導演習	4①~④	8		1								
	先導試験	4①~④	8		1								
	小計(3科目)	—	0	24	0	4	0	0	0	0	—		
合計(328科目)		—	33	376	0	13	6	1	3	0	兼92		
卒業要件及び履修方法													
以下の要件を満たし、合計124単位以上を修得した者。 ・共通教育科目において導入科目から4単位、GS科目に配置する5群の科目群から各3単位(必修科目含む)、GS言語科目から8単位、基礎科目又は初習言語科目から8単位を含め、計38単位以上を修得。 ・専門教育科目において学域GS科目から2単位、学域GS言語科目から2単位、先導実践科目から12単位、先導コア科目に配置する3コアエリアのうち、同一エリアからの8単位以上かつ異なる2コアエリアから各1単位以上を含む18単位、学知科目から30単位、鍛錬科目から8単位を含め、計86単位以上を修得。													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担			
			必修	選択	自由	その他	准教授	講師	助教	助手				
専門教育科目	学知科目	マーケティング論	3③	2	1	1							兼1	
		経営管理論	3①	2	1	1							兼1	
		国際経営論	3④	2	2								兼1	
		管理会計論	3③	2	2								兼1	
			ESG投資	3②	1	1								兼1
			生活デザイン論	3②	1	1	1							
			創業支援論	3②	1	1	1							
			知的財産法	3①	2	1	1							
			イノベーション・マネジメント	3④	1	1	1							
			需要予測	3①	1	1					1			兼2
			情報ネットワーク	3①	1	1								兼1
			データベース論	3③	1		1				1			
			プレゼンテーション	3③	1									兼1
			テクノロジーと医療・健康・介護	3③	1	1	1							兼2
			プランニング最適化	3③	1									兼1
			比較制度論	3③	1	1	1							
			地域政策論	3③	1	1	1							
			生活環境学	3④	1	1	1							
			心理学概論	3①	1	1								兼1
			公共政策論	3①	2									兼1
			レギュラトリーサイエンス	3④	1	1	1		1					
			未来型ヘルスケアシステム	3④	1	1	1							
			都市・交通デザイン	3②	1	1	1							兼2
			プロジェクト・マネジメント	3①	1	1	1							
			超高齢化社会と科学技術	3②	1	1	1							
			地域包括ケアと地方創生	3②	1	1	1							
			経営戦略論	3②	2	2								兼1
			医療制度改革と医療経済	3①	2	2		1	1					
			アプリ開発	3②	1	1	1				1			
			機械学習	3①	1	1	1							兼1
			先導数学	2④	2	1								兼1
			データサイエンス実践	2④	1	1	1							兼1
			先端医学	2④	1	1	1							
			AI・IoT健康福祉学	3④	1	1	1							兼3
			センシング論	3①	2									兼1
			マテリアル科学	3②	1		1					1		
			光学技術論	3③	1									兼1
			フィジカル・ブレイン接続	3④	1	1	1							
			コンピュータとデジタル回路	3①	1	1	1							
			コンピュータと電子回路	3④	1	1	1							
			地球環境論	3③	1									兼1
			環境基礎科学	3④	1	1	1					1		
			プログラミングスキル	2③	1	1	1							
			SDGs実践	2④	1	1	1							
	小計(44科目)	—	0	54	0	11	3	1	0	0	兼22			
専門教育科目	鍛錬科目	学術探究	4①	1	1	1	1	1						
		潜在課題探査分析	4①	1	1	1	1	1						
		先導プロジェクト演習	3①~③	2			13	7	1	1				
		海外実践留学	3③~④	1			1							
		国際インターンシップ	3③~④	1			1							
	小計(5科目)	—	2	4	0	13	7	1	1	0	0	—		
確立科目	先導研究	4①~④	8		2									
	先導演習	4①~④	8		1									
	先導試験	4①~④	8		1									
	小計(3科目)	—	0	24	0	4	0	0	0	0	0	—		
合計(324科目)		—	33	388	0	13	7	1	1	0	兼10			
卒業要件及び履修方法														
以下の要件を満たし、合計124単位以上(先導試験履修者は130単位以上)を修得した者。 ・共通教育科目において導入科目から3単位、GS科目に配置する1~5群の科目群から各2単位以上及び6群の科目群から3単位を含む15単位、GS言語科目から8単位、基礎科目又は初習言語科目から8単位を含め、計36単位以上を修得。 ・専門教育科目において学域GS科目から8単位、学域GS言語科目から2単位、実践科目から10単位、コア科目に配置する3コアエリアのうち、同一エリアからの8単位以上かつ異なる2コアエリアから各1単位以上を含む18単位、学知科目から30単位、鍛錬科目から4単位、確立科目から8単位以上を修得(先導試験履修者は94単位以上)。														







科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	単位	准教授	講師	助教	助手		
育科目	ドイツ語A(充実クラスⅠ-1)	1③	1								兼1	
	ドイツ語A(充実クラスⅠ-2)	1④	1								兼1	
	ドイツ語A(充実クラスⅡ-1)	1③	1								兼1	
	ドイツ語A(充実クラスⅡ-2)	1④	1								兼1	
	フランス語A(充実クラスⅠ-1)	1③	1								兼1	
	フランス語A(充実クラスⅠ-2)	1④	1								兼1	
	フランス語A(充実クラスⅡ-1)	1③	1								兼1	
	フランス語A(充実クラスⅡ-2)	1④	1								兼1	
	中国語A(充実クラスⅡ-1)	1③	1								兼1	
	中国語A(充実クラスⅡ-2)	1④	1								兼1	
小計(67科目)	—	—	0	80	0	2	0	0	0	0	兼31	
共通教育科目計(220科目)	—	—	13	248	0	6	2	0	0	0	兼76	
専門教育科目	学域GS科目	1①	1			2	1					
	アカデミックスキル	1②	1			2	1					
	プレゼン・ディベート論	1③	1			1	1					
	イノベーション基礎	1③	1			2	1					
	数値・データサイエンス基礎及び演習	1③	2			2						
デザイン思考	1④	1			1			1				
小計(5科目)	—	—	6	0	0	6	1	0	1	0	—	
言語学域科目S	学域GS言語科目Ⅰ/海外実践英語	2①・②	1					1				
	学域GS言語科目Ⅱ/時事・学術英語	3①・②	1					1				
小計(2科目)	—	—	2	0	0	0	1	0	0	0	—	
専門基礎科目	アントレプレナー基礎	1①	1			1						
	アントレプレナー演習Ⅰ	2①	2			1			1			
	アントレプレナー演習Ⅱ	2②	2			1			1			
	デザイン思考演習	1③・2①	1			1			1			
	アントレプレナーインターンシップ	2④	2			1			1			
	アントレプレナーコンテスト/リーダー養成	3②	1								兼1	
	アントレプレナーコンテスト/実践リーダー	4②	1								兼1	
	小計(7科目)	—	—	10	0	0	3	0	0	1	0	兼1
	コア科目	AIと未来社会	2②	1			1					
		シェアリングエコノミー	2④	1								兼1
現代社会を知る		2①	1			3			1		兼1	
社会変動と労働生産性		2③	1			1	1		1		兼4	
フィンテック基礎とビジネス応用		2①	1								兼1	
超スマートシティと Society5.0		2②	1			1					兼2	
消費生活論		2④	1			1						
倫理学		2③	1				1					
ファイナンス基礎		1④	1								兼1	
世界共創コアエリア		異文化理解とキャリア開発	2③	1						1		
	国際世界と特許	2②	1			1						
	グローバルイノベーション	2④	1			1			1			
	ダイバーシティ促進	2①	1						1		兼1	
	国際協力体制	2②	1			1					兼4	
	人の流動と定着	2①	1						2		兼1	
	ビジネスと政治	2④	1			1						
	SDGs基礎	2③	1			1			1			
	マーケティング基礎	2①	1			1			1			
	科学創発コアエリア	社会的な視点から見る医療	2②	1			3					
生命科学的な視点から見る医療		2④	1			3						
未来医科学		2④	1			1			1			
人工知能		2①	1				1					
世界の課題と技術トレンド		2③	1			1			1			
IoT技術		2③	1			1			1			
数理統計学基礎		2③	1								兼1	
世界変革技術論		2①	1			1	1				兼1	
テクノロジー基礎		1④	1			1	1		1	2		
小計(27科目)		—	—	0	27	0	10	6	0	3	0	兼16

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	単位	准教授	講師	助教	助手		
育科目	ドイツ語A(充実クラスⅠ-1)	1③	1								兼1	
	ドイツ語A(充実クラスⅠ-2)	1④	1								兼1	
	ドイツ語A(充実クラスⅡ-1)	1③	1								兼1	
	ドイツ語A(充実クラスⅡ-2)	1④	1								兼1	
	フランス語A(充実クラスⅠ-1)	1③	1								兼1	
	フランス語A(充実クラスⅠ-2)	1④	1								兼1	
	フランス語A(充実クラスⅡ-1)	1③	1								兼1	
	フランス語A(充実クラスⅡ-2)	1④	1								兼1	
	中国語A(充実クラスⅡ-1)	1③	1								兼1	
	中国語A(充実クラスⅡ-2)	1④	1								兼1	
小計(65科目)	—	—	0	78	0	2	0	0	0	0	兼29	
共通教育科目計(220科目)	—	—	13	248	0	6	2	0	0	0	兼74	
専門教育科目	学域GS科目	1①	1			1						
	初學者ゼミⅠ	1②	1			1			1		兼1	
	プレゼン・ディベート論(初學者ゼミⅡ)	1③	1			1						
	イノベーション基礎	1③	1			1						
	数値・データサイエンス基礎及び演習	1③	2			2						
デザイン思考	1④	1			1			1				
小計(5科目)	—	—	6	0	0	5	0	0	1	0	兼1	
言語学域科目S	学域GS言語科目Ⅰ/海外実践英語	2①・②	1					1				
	学域GS言語科目Ⅱ/時事・学術英語	3①・②	1					1				
小計(2科目)	—	—	2	0	0	0	1	0	0	0	—	
専門基礎科目	アントレプレナー基礎	1①	1			1						
	アントレプレナー演習Ⅰ	2①	2			1			1			
	アントレプレナー演習Ⅱ	2②	2			1			1			
	デザイン思考演習	2①	1			1			1			
	アントレプレナーインターンシップ	2④	2			1						
	アントレプレナーコンテスト/リーダー養成	3②	1								兼1	
	アントレプレナーコンテスト/実践リーダー	4②	1								兼1	
	小計(7科目)	—	—	10	0	0	2	1	1	1	0	兼2
	コア科目	AIと未来社会	2②	1			1					
		シェアリングエコノミー	2④	1								兼1
現代社会を知る		2①	1			4			1		兼3	
社会変動と労働生産性		2②	1			1	1		1		兼2	
フィンテック基礎とビジネス応用		2①	1									
超スマートシティと Society5.0		2②	1			1			1			
消費生活論		2④	1			1						
倫理学		2③	1				1					
ファイナンス基礎		1④	1								兼1	
世界共創コアエリア		異文化理解とキャリア開発	2③	1						1		
	国際世界と特許	2③	1			1						
	グローバルイノベーション	2④	1			1			1			
	ダイバーシティ促進	2①	1						1		兼1	
	国際協力体制	2②	1						3			
	人の流動と定着	2②	1						2			
	ビジネスと政治	2④	1			1						
	SDGs基礎	2③	1			1			1			
	マーケティング基礎	2①	1			1			1			
	科学創発コアエリア	社会的な視点から見る医療	2③	1			2			1		
生命科学的な視点から見る医療		2④	1			2			1			
未来医科学		2④	1			1						
人工知能		2①	1				1					
世界の課題と技術トレンド		2③	1			1			1			
IoT技術		2③	1			1			1			
数理統計学基礎		2③	1								兼1	
世界変革技術論		2①	1			1	1				兼1	
テクノロジー基礎		1④	1			1	1		1	2		
小計(27科目)		—	—	0	27	0	9	6	1	3	0	兼6

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	
専門教育科目	マーケティング論	3①	2	1						
	経営管理論	3①	2						兼1	
	国際経営論	3③	2						兼1	
	管理会計論	3③	2						兼1	
	ESG投資	3②	1						兼1	
	生活デザイン論	3②	1	1						
	創業支援論	3①	1	1						
	知的財産法	3②	2	1						
	イノベーション・マネジメント	3④	1	1						
	需要予測	3①	1	2						
	情報ネットワーク	3①	1							兼1
	データベース論	3③	1		1					
	プレジジョンメディスン	3③	1							兼1
	テクノロジーと医療・健康・介護	3③	1	1						
	プランニング最適化	3③	1							兼1
	比較制度論	3③	1	1						
	地域政策論	3③	1	1						
	生活環境学	3②	1	1						
	心理学概論	3①	1							兼1
	公共政策論	3①	2							兼1
	レギュラトリーサイエンス	3④	1	1			1			
	未来型ヘルスケアシステム	3③	1	1						
	都市・交通デザイン	3②	1	1						
	プロジェクト・マネジメント	3①	1	1						
	超高齢化社会と科学技術	3②	1	1						
	地域包括ケアと地方創生	3②	1	1						
	経営戦略論	3②	2							兼1
	医療制度改革と医療経済	3①	2	2			1			
	アプリ開発	3②	1		1					
	機械学習	3③	1	1						兼1
	先導数学	2④	2	1						
	データサイエンス実践	2④	1							兼1
	先端医学	2④	1	1						
	AI・IoT健康福祉学	3④	1	1						
	センシング論	3①	2							兼1
	マテリアル科学	3②	1					1		
	光学技術論	3③	1							兼1
	フィジカル・ブレイン接続	3④	1	1						
	コンピュータとデジタル回路	3①	1	1						
	コンピュータと電子回路	3④	1	1						
	地球環境論	3③	1							兼1
	環境基礎科学	3④	1	1				1		
	プログラミングスキル	2③	1	1						
	SDGs実践	2④	1	1						
小計(44科目)	—	0	54	0	13	2	0	2	0	兼14

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	
専門教育科目	マーケティング論	3①	2	1						
	経営管理論	3①	2							兼1
	国際経営論	3③	2							兼1
	管理会計論	3③	2							兼1
	ESG投資	3②	1							兼1
	生活デザイン論	3②	1	1						
	創業支援論	3①	1	1						
	知的財産法	3②	2	1						
	イノベーション・マネジメント	3④	1	1						
	需要予測	3①	1	2						
	情報ネットワーク	3①	1							兼1
	データベース論	3③	1		1					
	プレジジョンメディスン	3③	1							兼1
	テクノロジーと医療・健康・介護	3③	1	1						
	プランニング最適化	3③	1							兼1
	比較制度論	3③	1	1						
	地域政策論	3③	1	1						
	生活環境学	3②	1	1						
	心理学概論	3①	1							兼1
	公共政策論	3①	2							兼1
	レギュラトリーサイエンス	3④	1	1			1			
	未来型ヘルスケアシステム	3③	1	1						
	都市・交通デザイン	3②	1	1						
	プロジェクト・マネジメント	3①	1	1						
	超高齢化社会と科学技術	3②	1	1						
	地域包括ケアと地方創生	3②	1	1						
	経営戦略論	3②	2							兼1
	医療制度改革と医療経済	3①	2	2			1			
	アプリ開発	3②	1		1					
	機械学習	3③	1	1						兼1
	先導数学	2④	2	1						
	データサイエンス実践	2④	1							兼1
	先端医学	2④	1	1						
	AI・IoT健康福祉学	3④	1	1						
	センシング論	3①	2							兼1
	マテリアル科学	3②	1					1		
	光学技術論	3③	1							兼1
	フィジカル・ブレイン接続	3④	1	1						
	コンピュータとデジタル回路	3①	1	1						
	コンピュータと電子回路	3④	1	1						
	地球環境論	3③	1							兼1
	環境基礎科学	3④	1	1				1		
	プログラミングスキル	2④	1	1						
	SDGs実践	2④	1	1						
小計(44科目)	—	0	54	0	13	2	0	2	0	兼13



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	
専門教育科目	鍛錬科目 学術探究 潜在課題探査分析 先導プロジェクト演習 海外実践留学 国際インターンシップ	4①	1	1	2	1	1	1		
		4①	1	1	2	1	1	1		
		3①～③	2	1	14	5				
		3③～④	1	1	1					
		3③～④	1	1	1					
	小計(5科目)	—	2	4	0	14	6	0	1	0
	確立科目 先導研究 先導演習 先導試験	4①～④	8	2						
		4①～④	8	1						
		4①～④	8	1						
		小計(3科目)	—	0	24	0	4	0	0	0
合計(323科目)	—	33	367	0	14	6	0	3	0	兼87
卒業要件及び履修方法										
以下の要件を満たし、合計124単位以上(先導試験履修者は130単位以上)を修得した者。 ・共通教育科目において導入科目から3単位、GS科目に配置する1～5群の科目群から各2単位以上及び6群の科目群から3単位を含む15単位、GS言語科目から8単位、基礎科目又は初習言語科目から8単位を含め、計36単位以上を修得。 ・専門教育科目において学域GS科目から6単位、学域GS言語科目から2単位、実践科目から10単位、コア科目に配置する3コアエリアのうち、同一エリアからの8単位以上かつ残る2コアエリアから各1単位以上を含む18単位、学知科目から30単位、鍛錬科目から4単位、確立科目から8単位を含め、計88単位以上を修得(先導試験履修者は94単位以上)。										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	
専門教育科目	鍛錬科目 学術探究 潜在課題探査分析演習 先導プロジェクト演習 海外実践留学 国際インターンシップ	4①	1	1	2	1	1	1		
		4①	1	1	2	1	1	1		
		3①～③	2	1	13	5				
		3③～④	1	1	1					
		3③～④	1	1	1					
	小計(5科目)	—	2	4	0	13	6	0	1	0
	確立科目 先導研究 先導演習 先導試験	4①～④	8	2						
		4①～④	8	1						
		4①～④	8	1						
		小計(3科目)	—	0	24	0	4	0	0	0
合計(313科目)	—	33	357	0	13	6	1	3	0	兼82
卒業要件及び履修方法										
以下の要件を満たし、合計124単位以上(先導試験履修者は130単位以上)を修得した者。 ・共通教育科目において導入科目から3単位、GS科目に配置する1～5群の科目群から各2単位以上及び6群の科目群から3単位を含む15単位、GS言語科目から8単位、基礎科目又は初習言語科目から8単位を含め、計36単位以上を修得。 ・専門教育科目において学域GS科目から6単位、学域GS言語科目から2単位、実践科目から10単位、コア科目に配置する3コアエリアのうち、同一エリアからの8単位以上かつ残る2コアエリアから各1単位以上を含む18単位、学知科目から30単位、鍛錬科目から4単位、確立科目から8単位を含め、計88単位以上を修得(先導試験履修者は94単位以上)。										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなくなったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・担当教員の異動に伴い、「異文化体験A」の教員配置を兼2から兼1に変更。
- ・担当教員の異動に伴い、「異文化体験B」の教員配置を兼2から兼1に変更。
- ・担当教員の異動に伴い、「異文化体験C」の教員配置を兼2から兼1に変更。
- ・担当教員の異動に伴い、「異文化体験D」の教員配置を兼2から兼1に変更。
- ・担当教員の異動に伴い、「異文化体験E」の教員配置を兼2から兼1に変更。
- ・担当教員の異動に伴い、「異文化体験F」の教員配置を兼2から兼1に変更。
- ・担当教員の異動に伴い、「異文化体験G」の教員配置を兼2から兼1に変更。
- ・担当教員の異動に伴い、「異文化体験H」の教員配置を兼2から兼1に変更。
- ・共通教育科目の見直しにより、「国際社会とボランティア」の名称を「グローバル時代の国際協力」に変更。また、「グローバル時代の国際協力」（旧名称「国際社会とボランティア」）の配当年次を「1年1020」から「1年10203040」に変更。
- ・共通教育科目の見直しにより、「統計学から未来を見る」の配当年次を「1年102030」を「1年10203040」に変更。
- ・共通教育科目の見直しにより、「人権・ジェンダー論」の名称を「現代社会と人権」に変更。また、「現代社会と人権」（旧名称「人権・ジェンダー論」）の配当年次を「1年203040」から「1年10203040」に変更。
- ・共通教育科目の見直しにより、「English for Academic Purposes(EAP)Ⅱ」の配当年次を「1年1020」から「1年20」に変更。
- ・共通教育科目の見直しにより、「日本語で学ぶ論理A」の配当年次を「1年30」から「1年1030」に変更。
- ・共通教育科目の見直しにより、「日本語で学ぶ論理B」の配当年次を「1年40」から「1年2040」に変更。
- ・共通教育科目の見直しにより、「アントレプレナーシップⅠ」の配当年次を「1年10」から「1年30」に変更。
- ・共通教育科目の見直しにより、「クラウド時代の「もの」のマーケティング」の配当年次を「1年10～20」から「1年30～40」に変更。
- ・共通教育科目の見直しにより、「シェルスクリプト言語論」の配当年次を「1年10～20」から「1年30～40」に変更。
- ・共通教育科目の見直しにより、「シェルスクリプトを用いた「もの」のマーケティング」の配当年次を「1年20」から「1年10」に変更。また、単位数を2単位から1単位に変更。
- ・共通教育科目の見直しにより、「香りと日本文化」の配当年次を「1年20」から「1年30」に変更。
- ・共通教育科目の見直しにより、「東洋史要説」の配当年次を「2年10～20」から「2年30～40」に変更。
- ・共通教育科目の見直しにより、「Pythonデータ分析入門」の配当年次を「1年30」から「1年20」に変更。
- ・共通教育科目の見直しにより、「インテグレートド科学」、「AI入門」、「デザイン思考入門」、「論理学と数学の基礎」、「口頭発表A」、「口頭発表B」、「物理学ⅡA」、「物理学ⅡB」、「現代社会における保険の制度と役割Ⅰ」、「現代社会における保険の制度と役割Ⅱ」、「日本の伝統芸能」を新規追加。
- ・学域GS科目拡充のため、「初學者ゼミⅠ」及び「プレゼン・ディベート論（初學者ゼミⅡ）」を共通教育科目から専門教育科目「学域GS科目」へ科目区分変更。「デザイン思考」を「実践科目」から「学域GS科目」へ科目区分変更。「数理・データサイエンス基礎及び演習」を「1単位」から「2単位」に変更。
- ・科目区分名称の見直しのため、「先導実践科目」・「先導コア科目」・「先導学知科目」・「先導確立科目」から、それぞれ「実践科目」・「コア科目」・「学知科目」・「鍛錬科目」・「確立科目」に変更。
- ・配当年次の見直しのため、「ファイナンス基礎」を「1年30」から「1年40」に変更。
- ・配当年次の見直しのため、「数理統計学基礎」を「2年20」から「2年30」に変更。
- ・配当年次の見直しのため、「需要予測」を「2年40」から「3年10」に変更。
- ・配当年次の見直しのため、「都市・交通デザイン」を「2年40」から「3年20」に変更。
- ・配当年次の見直しのため、「データサイエンス実践」を「3年40」から「2年40」に変更。
- ・配当年次の見直しのため、「潜在課題探索分析演習」を「3年40」から「4年10」に変更。
- ・配当年次の見直しのため、「先導プロジェクト演習」を「4年10～30」から「3年10～30」に変更。
- ・単位数の見直しのため、「デザイン思考演習」の単位数を「2単位」から「1単位」に変更。
- ・単位数の見直しのため、「公共政策論」の単位数を「1単位」から「2単位」に変更。
- ・単位数の見直しのため、「地球環境論」の単位数を「2単位」から「1単位」に変更。
- ・授業実施に係る変更のため、「アントレプレナー基礎」の兼任・兼担の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・卒業要件及び履修方法を変更。

【令和4年度】

- ・共通教育科目の見直しにより、「異文化間コミュニケーション」の教員配置を兼担1から助教1・兼担1に変更。
- ・共通教育科目の見直しにより、「デザイン思考入門」の教員配置を兼担2から助教1・兼担1に変更。
- ・配当年次の見直しのため、「デザイン思考」を「1年40」から「1年20」に変更。
- ・配当年次の見直しのため、「デザイン思考演習」を「2年10」から「1年30」に変更（令和4年度以降入学者対象で、令和3年度入学者は2年10に実施）。
- ・配当年次の見直しのため、「社会変動と労働生産性」を「2年20」から「2年30」に変更。
- ・配当年次の見直しのため、「人の流動と定着」を「2年20」から「2年10」に変更。
- ・配当年次の見直しのため、「国際世界と特許」を「2年30」から「2年20」に変更。
- ・配当年次の見直しのため、「ビジネスと政治」を「2年40」から「2年10」に変更。
- ・配当年次の見直しのため、「社会的な視点からみる医療」を「2年30」から「2年20」に変更。
- ・配当年次の見直しのため、「プログラミングスキル」を「2年40」から「2年30」に変更。
- ・科目名称の見直しのため、「初學者ゼミⅠ」を「アカデミックスキル」に変更。
- ・科目名称の見直しのため、「プレゼン・ディベート論（初學者ゼミⅡ）」を「プレゼン・ディベート論」に変更。
- ・科目名称の見直しのため、「潜在課題探索分析演習」を「潜在課題探索分析」に変更。
- ・担当教員の昇任のため、「アントレプレナー演習Ⅰ」の教員配置を講師1・助教1から教授1・助教1に変更。
- ・担当教員の昇任のため、「アントレプレナー演習Ⅱ」の教員配置を講師1・助教1から教授1・助教1に変更。
- ・担当教員の昇任のため、「社会的な視点からみる医療」の教員配置を教授2・講師1から教授3に変更。
- ・担当教員の昇任のため、「生命科学的な視点からみる医療」の教員配置を教授2・講師1から教授3に変更。
- ・担当教員の昇任のため、「先導プロジェクト演習」の教員配置を教授13・准教授5から教授14・准教授5に変更。
- ・授業実施に係る変更のため、「アカデミックスキル」（旧名称「初學者ゼミⅠ」）の教員配置を教授1・兼担1から教授2・准教授1に変更。
- ・授業実施に係る変更のため、「プレゼン・ディベート論」（旧名称「プレゼン・ディベート論（初學者ゼミⅡ）」）の教員配置を教授1・助教1から教授2・准教授1に変更。
- ・授業実施に係る変更のため、「アントレプレナー基礎」の教員配置を教授1・兼担1から教授1に変更。
- ・授業実施に係る変更のため、「アントレプレナーインターンシップ」の教員配置を准教授1から教授1・助教1に変更。
- ・授業実施に係る変更のため、「現代社会を知る」の教員配置を教授4・助教1から教授3・助教1・兼担1に変更。
- ・授業実施に係る変更のため、「社会変動と労働生産性」の教員配置を教授1・准教授1・助教1・兼担2・兼任1から教授1・准教授1・助教1・兼担4に変更。
- ・授業実施に係る変更のため、「フィンテック基礎とビジネス応用」の教員配置を兼担1・兼任1から教授1・兼担1に変更。
- ・授業実施に係る変更のため、「ダイバーシティ促進」の教員配置を助教1から助教1・兼担1に変更。
- ・授業実施に係る変更のため、「国際協力体制」の教員配置を准教授3から准教授1・兼担4に変更。
- ・授業実施に係る変更のため、「人の流動と定着」の教員配置を准教授2から兼担1に変更。
- ・授業実施に係る変更のため、「超スマートシティと Society5.0」の教員配置を教授1・助教1から教授1・兼担2に変更。
- ・授業実施に係る変更のため、「世界変革技術論」の教員配置を教授1・准教授1から教授1・准教授1・兼担1に変更。
- ・授業実施に係る変更のため、「先導数学」の教員配置を教授1から教授1・兼担1に変更。
- ・担当教員の異動に伴い、「エクササイズ&スポーツ 実技」の教員配置を兼2から兼1に変更。
- ・担当教員の異動に伴い、「デザイン思考入門」の教員配置を兼2から兼1に変更。
- ・共通教育科目の見直しにより、「アントレプレナーシップⅠ」「アントレプレナーシップⅡ」「実践アントレプレナー学」「実践アントレプレナー学」「異文化理解のためのビデオ会議ディスカッション」「英国諸島の地史Ⅰ」「英国諸島の地史Ⅱ」「プログラミング演習Ⅰ」「プログラミング演習Ⅱ」を廃止。
- ・共通教育科目の見直しにより、「シェルスクリプト言語論」を「シェルスクリプト言語論Ⅰ」に名称変更。
- ・共通教育科目の見直しにより、「地域「超」体験プログラム」を「未来デザインワークショップ」に名称変更。
- ・共通教育科目の見直しにより、「Society5.0概論」（2単位）を「Society5.0概論A」（1単位）、「Society5.0概論B」（1単位）に分割。開講期を1年10.1年2Qに変更。
- ・共通教育科目の見直しにより、「シェルスクリプト言語論2」「ソーシャルビジネス概論」「能登・地域活性化演習Ⅰ」「能登・地域活性化演習Ⅱ」「地域のトップリーダーを繋ぐⅠ」「地域のトップリーダーを繋ぐⅡ」「ローカルキャリアデザインⅠ」「ローカルキャリアデザインⅡ」を新規追加。
- ・共通教育科目目初修言語科目に日本語を追加するため、「日本語A1-1」「日本語A1-2」「日本語A2-1」「日本語A2-2」「日本語A3-1」「日本語A3-2」「日本語A4-1」「日本語A4-2」を新規追加。

【令和5年度】

- ・共通教育科目＞
- ・共通教育科目の見直しのため、「健康科学」の教員配置を、教授1から准教授1に変更。
- ・共通教育科目の見直しのため、「金沢・能登と世界の地域文化」を「地域社会と文化人類学」に変更。
- ・共通教育科目の見直しのため、「地元学A（地域資源調査）」を「キャリアデザインコーチング」に変更。
- ・共通教育科目の見直しのため、「地元学B（聞き書き）」を「地域協創のアンテナ」に変更。
- ・共通教育科目の見直しのため、「シニエリタス」を用いた「ものグラミング」演習を「シニエリタスを用いた「ものグラミング」演習A」に変更し、開講期を「1①」から「1②」に変更。
- ・共通教育科目の見直しのため、「シニエリタスを用いた「ものグラミング」演習B」、「石川未来プロジェクトI」及び「石川未来プロジェクトII」を新設。
- ・共通教育科目の見直しのため、「イノベーションを起して、起業家になろう1」の教員配置を、教授1から兼任1に変更。
- ・共通教育科目の見直しのため、「イノベーションを起して、起業家になろう1」及び「香りと日本文化」を廃止。
- ・共通教育科目の見直しのため、「地域創造特別講義C」を「地域想像プロジェクト講義C」に変更。
- ・共通教育科目の見直しのため、「地域創造特別講義D」を「社会実装から学ぶ循環経済」に変更。
- ・共通教育科目の見直しのため、「能登・地域活性化演習1」を「能登・地域活性化演習」に変更し、開講期を「1④」から「1②」に変更。
- ・共通教育科目の見直しのため、「能登・地域活性化演習II」を「北陸地域デザイン学」に変更し、開講期を「1②」から「1③」に変更。
- ・共通教育科目の見直しのため、「Pythonデータ分析入門」の開講期を「1②」から「1③」に変更。
- ・共通教育科目の見直しのため、「動画配信サービスを用いた情報発信演習A」を「Unityゲーム開発演習」に変更。
- ・共通教育科目の見直しのため、「動画配信サービスを用いた情報発信演習B」を「リアルタイムVFX演習」に変更。
- ・共通教育科目の見直しのため、「Society5.0概論A」を「シニエリタスを用いた「大規模データ処理」演習A」に変更し、開講期を「1①」から「1②」に変更。
- ・共通教育科目の見直しのため、「ゼミノアフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界1」を「文学創作実践」に変更。
- ・共通教育科目の見直しのため、「ゼミノアフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界2」を「学域横断的プロジェクト入門」に変更。
- ＜専門教育科目＞
- ・担当教員の昇任のため、「現代社会を知る」の教員配置を教授3・助教1・兼任1から教授3・講師1・兼任1に変更。
- ・担当教員の昇任のため、「ダイバーシティ促進」の教員配置を助教1・兼任1から講師1・兼任1に変更。
- ・担当教員の昇任のため、「テクノロジー基礎」の教員配置を教授1・准教授1・助教2・兼任1から教授1・准教授2・講師1・兼任1に変更。
- ・担当教員の昇任のため、「レギュラトリーサイエンス」の教員配置を教授1・助教1から教授1・准教授1に変更。
- ・担当教員の昇任のため、「医療制度改革と医療経済」の教員配置を教授2・助教1から教授2・准教授1に変更。
- ・担当教員の昇任のため、「マテリアル科学」の教員配置を助教1から講師1に変更。
- ・担当教員の昇任のため、「環境基礎科学」の教員配置を教授1・助教1から教授1・講師1に変更。
- ・配当年次の見直しのため、「SDGs基礎」を「2年30」から「2年20」に変更。
- ・配当年次の見直しのため、「国際経営論」を「3年30」から「3年40」に変更。
- ・配当年次の見直しのため、「創業支援論」を「3年10」から「3年20」に変更。
- ・配当年次の見直しのため、「知的財産法」を「3年20」から「3年10」に変更。
- ・配当年次の見直しのため、「生活環境学」を「3年20」から「3年40」に変更。
- ・配当年次の見直しのため、「機械学習」を「3年30」から「3年10」に変更。
- ・配当年次の見直しのため、「マーケティング論」を「3年10」から「3年30」に変更。
- ・授業実施に係る変更のため、「アカデミックスキル」の教員配置を教授2・准教授1から教授2・兼任1に変更。
- ・授業実施に係る変更のため、「プレゼン・ディベート論」の教員配置を教授2・准教授1から教授2・兼任1に変更。
- ・授業実施に係る変更のため、「数理・データサイエンス基礎及び演習」の教員配置を教授2から教授1・兼任1に変更。
- ・授業実施に係る変更のため、「デザイン思考」の教員配置を教授1・助教1から教授1・助教1・兼任1に変更。
- ・授業実施に係る変更のため、「IoT技術」の教員配置を准教授1から教授1・准教授1に変更。
- ・授業実施に係る変更のため、「マーケティング論」の教員配置を教授1から兼任1に変更。
- ・授業実施に係る変更のため、「需要予測」の教員配置を教授2から教授1・兼任2に変更。
- ・授業実施に係る変更のため、「テクノロジーと医療・健康・介護」の教員配置を教授1から教授1・兼任2に変更。
- ・授業実施に係る変更のため、「都市・交通デザイン」の教員配置を教授1から教授1・兼任1・兼任1に変更。
- ・授業実施に係る変更のため、「AI・IoT健康福祉学」の教員配置を教授1から教授1・兼任3に変更。
- ・担当教員の異動に伴い、「国際協力体制」の教員配置を准教授1・兼任4から准教授1・兼任3に変更。
- ・担当教員の異動に伴い、「先導数学」の教員配置を教授1・兼任1から兼任1に変更。
- ・担当教員の異動に伴い、「学術探究」の教員配置を教授2・准教授1から教授1・准教授1に変更。
- ・担当教員の昇任・異動及び授業実施に係る変更のため、「先導プロジェクト演習」の教員配置を教授14・准教授5から教授13・准教授7・講師1・助教1に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
28 科目	300 科目	0 科目	328 科目	28 科目 [ 0 ]	296 科目 [ Δ4 ]	0 科目 [ 0 ]	324 科目 [ Δ4 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	物理の世界	1	1②・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置有。
2	化学の世界	1	1①・②・③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置有。
3	論理学から見る世界	1	1①・②・③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置有。
4	数学的発想法	1	1①・②・③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置有。
5	国際社会とボランティア	1	1①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置有。
6	人権・ジェンダー論	1	1②・③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置有。
7	口頭発表ⅠA	1	1①	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置有。
8	口頭発表ⅠB	1	1②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置有。
9	口頭発表ⅡA	1	1③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置有。
10	口頭発表ⅡB	1	1④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置有。
11	統計数学A	1	1③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
12	統計数学B	1	1④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
13	物理学実験	2	1③~④、2①~②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
14	化学実験	2	1③~④、2①~②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
15	ジャーナリズム論	1	1④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
16	里山里海体験実習 in 能登半島	1	1①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
17	世界農業遺産「能登の里山里海」とSDGsを考察するスタディ・ツアー	1	1①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
18	里山概論	1	1①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
19	ひとのからだ1	1	1①	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
20	ひとのからだ2	1	1②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
21	ひとのからだ3	1	1③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
22	ひとのからだ4	1	1④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
23	日本の伝統芸能1	1	1①	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置有。
24	日本の伝統芸能2	1	1②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置有。
25	多民族・多文化共生の未来を探る	1	1①	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
26	ガラスとクリスタルⅠ	1	1②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
27	ガラスとクリスタルⅡ	1	1③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
28	アントレプレナーシップⅠ	1	1①	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
29	実践アントレプレナー学	1	1③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
30	異文化理解のためのビデオ会議ディスカッション	1	1③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
31	英国諸島の地史Ⅰ	1	1②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
32	英国諸島の地史Ⅱ	1	1③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
33	プログラミング演習Ⅰ	1	1③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
34	プログラミング演習Ⅱ	1	1④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
35	イノベーションを創出して、起業家になろう4	1	1④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
36	香りと日本文化	1	1③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

共通教育科目は、毎年、教育内容や教育効果について検討しブラッシュアップを行っている。適宜、新設科目を設けているため、学生に影響はないと考える。  
学生に対しては、毎年、授業開始前にWebや掲示等を通じて開講科目を周知しているため、問題ない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{36}{328} = \boxed{10.97} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	728,946 m <sup>2</sup> <del>730,408 m<sup>2</sup></del> 731,780 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	728,946 m <sup>2</sup> <del>730,408 m<sup>2</sup></del> 731,780 m <sup>2</sup>	大学全体 研究所新設のため (3) センター新設のため (5)			
		運動場用地	115,740 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		115,740 m <sup>2</sup>		
	小 計	844,686 m <sup>2</sup> <del>846,148 m<sup>2</sup></del> 847,520 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	844,686 m <sup>2</sup> <del>846,148 m<sup>2</sup></del> 847,520 m <sup>2</sup>				
		そ の 他	1,718,992 m <sup>2</sup> <del>1,717,530 m<sup>2</sup></del> 1,793,478 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		1,718,992 m <sup>2</sup> <del>1,717,530 m<sup>2</sup></del> 1,793,478 m <sup>2</sup>		
	合 計	2,563,678 m <sup>2</sup> <del>2,640,998 m<sup>2</sup></del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	2,563,678 m <sup>2</sup> <del>2,640,998 m<sup>2</sup></del>				
(2) 校 舎	専 用	284,147 m <sup>2</sup> <del>284,135 m<sup>2</sup></del> 283,999 m <sup>2</sup> <del>283,269 m<sup>2</sup></del> (284,147 m <sup>2</sup> ) <del>(284,135 m<sup>2</sup>)</del> <del>(283,999 m<sup>2</sup>)</del> <del>(283,269 m<sup>2</sup>)</del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	284,147 m <sup>2</sup> <del>284,135 m<sup>2</sup></del> 283,999 m <sup>2</sup> <del>283,269 m<sup>2</sup></del> (284,147 m <sup>2</sup> ) <del>(284,135 m<sup>2</sup>)</del> <del>(283,999 m<sup>2</sup>)</del> <del>(283,269 m<sup>2</sup>)</del>		大学全体 建物増築のため(3) 建物増築のため(4) 建物増築のため(5)		
			( 0 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )					
(3) 教 室 等	講 義 室	183室 162室 138室	演 習 室 307室 208室 215室	実験実習室 946室 1,180室 903室	情報処理学習施設 13室 11室 9室 (補助職員 0人)	語学学習施設 6室 8室 6室 (補助職員 0人)	大学全体 教室等用途変更・整理 のため(3) 教室等用途変更・整理 のため(5)		
	新設学部等の名称			室 数			専任教員1名退職のため(5)		
融合学域 先導学類			22 23 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学類単位で特定不能のため、大学全体の数量 購入・廃棄等のため(3) 購入・廃棄等のため(4) 購入・廃棄等のため(5)	
		冊	種	〔うち外国書〕					
	融合学域 先導学類	1,932,498 [678,510] <del>1,928,196 [680,849]</del> 1,914,343 [678,567] 1,911,948 [678,273]	34,666 [12,153] <del>34,760 [12,152]</del> 35,708 [13,079] 36,332 [14,394]	10,710 [9,166] <del>10,888 [9,388]</del> 10,744 [9,292] 9,852 [8,485]	8,376 <del>8,372</del> 8,336 8,219	10,104 <del>9,693</del> 8,986 8,269	212 373		
		1,932,498 [678,510] <del>1,928,196 [680,849]</del> 1,914,343 [678,567] 1,911,948 [678,273]	(34,666 [12,153]) <del>(34,760 [12,152])</del> (35,708 [13,079]) (36,332 [14,394])	(10,710 [9,166]) <del>(10,888 [9,388])</del> (10,744 [9,292]) (9,852 [8,485])	8,376 <del>8,372</del> 8,336 8,219	(10,104) <del>(9,693)</del> 8,986 8,269	(212) (373)		
		1,932,498 [678,510] <del>1,928,196 [680,849]</del> 1,914,343 [678,567] 1,911,948 [678,273]	34,666 [12,153] <del>34,760 [12,152]</del> 35,708 [13,079] 36,332 [14,394]	10,710 [9,166] <del>10,888 [9,388]</del> 10,744 [9,292] 9,852 [8,485]	8,376 <del>8,372</del> 8,336 8,219	10,104 <del>9,693</del> 8,986 8,269	212 373		
		1,932,498 [678,510] <del>1,928,196 [680,849]</del> 1,914,343 [678,567] 1,911,948 [678,273]	34,666 [12,153] <del>34,760 [12,152]</del> 35,708 [13,079] 36,332 [14,394]	10,710 [9,166] <del>(10,888 [9,388])</del> (10,744 [9,292]) (9,852 [8,485])	8,376 <del>8,372</del> 8,336 8,219	(10,104) <del>(9,693)</del> 8,986 8,269	(212) (373)		
計	1,932,498 [678,510] <del>1,928,196 [680,849]</del> 1,914,343 [678,567] 1,911,948 [678,273]	34,666 [12,153] <del>34,760 [12,152]</del> 35,708 [13,079] 36,332 [14,394]	10,710 [9,166] <del>(10,888 [9,388])</del> (10,744 [9,292]) (9,852 [8,485])	8,376 <del>8,372</del> 8,336 8,219	(10,104) <del>(9,693)</del> 8,986 8,269	(212) (373)			
	1,932,498 [678,510] <del>1,928,196 [680,849]</del> 1,914,343 [678,567] 1,911,948 [678,273]	34,666 [12,153] <del>34,760 [12,152]</del> 35,708 [13,079] 36,332 [14,394]	10,710 [9,166] <del>(10,888 [9,388])</del> (10,744 [9,292]) (9,852 [8,485])	8,376 <del>8,372</del> 8,336 8,219	(10,104) <del>(9,693)</del> 8,986 8,269	(212) (373)			
(6) 図 書 館	面 積	19,794 m <sup>2</sup>		閱 覧 座 席 数	2,076 <del>2,144</del> 2,185 2,191	収 納 可 能 冊 数	1,633,859 <del>1,640,536</del> 1,625,424	椅子破損および書架 入れ替え等のため(3) 椅子破損および書架 入れ替え等のため(4) 椅子破損および座席レ イアウト再編のため (5)	
	面 積	6,295 m <sup>2</sup>		体育館以外のスポーツ施設の概要					
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度		
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円		
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	金 沢 大 学										平均入学生員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学生員超過率1.15倍以上の学科数	1	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	3
	既設学部等の名称	修業年限	入学生員	編入学生員	収容定員	学位又は称号	平均入学生員超過率	平均入学生員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考				
融合学域		年	人	3年次 人	人	倍	倍	倍	倍	年度	年度	-						
先導学類	4	55	3年次 25	190	学士 (学術)	1.04	-	0.93	-	-	令和3	石川県金沢市角間町						
観光デザイン学類	4	20	3年次 25	35	学士 (学術)	1.17	-	1.17	-	R5	令和4	同上	令和5年度入学生員変更(5)					
スマート創成科学類	4	20	3年次 25	20	学士 (学術)	1.05	-	1.05	-	-	令和5	同上						
人間社会学域		668	3年次 5	2769		1.02	-	1.09	1.02									
人文学類	4	138	3年次 5	562	学士 (文学)	1.02	-	1.10	1.03	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学生員変更(△4) 令和4年度入学生員変更(△2)					
法学類	4	150	3年次 5	645	学士 (法学)	1.00	-	1.05	1.00	-	平成20	同上	令和3年度入学生員変更(△1) 令和4年度入学生員変更(△1) 令和5年度入学生員変更(△1)					
経済学類	4	131	3年次 5	528	学士 (経済学)	1.02	-	1.08	1.03	-	平成20	同上	令和3年度入学生員変更(△4)					
学校教育学類 共同教員養成課程	4	85	3年次 5	170	学士 (教育学)	1.02	-	1.01	-	-	令和4	同上						
地域創造学類	4	83	3年次 5	349	学士 (地域創造学)	1.02	-	1.08	1.02	-	平成20	同上	令和3年度入学生員変更(△2) 令和4年度入学生員変更(△5)					
国際学類	4	81	3年次 5	330	学士 (国際学)	1.02	-	1.19	1.04	-	平成20	同上	令和3年度入学生員変更(△2) 令和4年度入学生員変更(△2)					
学校教育学類	4	-	3年次 5	-	学士 (教育学)	-	-	-	-	-	平成20	同上	令和4年度学生募集停止					
理工学域		579	3年次 40	2471		1.02	1.02	1.07	1.02									
数物科学類	4	78	3年次 5	338	学士 (理学)	1.01	-	1.04	1.00	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学生員変更(△2) 令和4年度入学生員変更(△4)					
物質化学類	4	78	3年次 4	325	学士 (理学・工学)	1.04	1.03	1.08	1.04	-	平成20	同上	令和3年度入学生員変更(△2) 令和4年度入学生員変更(△1)					
機械工学類	4	94	3年次 10	408	学士 (工学)	1.02	-	1.09	1.00	-	平成30	同上	令和3年度入学生員変更(△3) 令和4年度入学生員変更(△3)					
フロンティア工学類	4	103	3年次 5	437	学士 (工学)	1.02	-	1.06	1.01	-	平成30	同上	令和3年度入学生員変更(△3) 令和4年度入学生員変更(△4)					
電子情報通信学類	4	76	3年次 7	312	学士 (工学)	1.02	-	1.15	1.1	-	平成30	同上	令和3年度入学生員変更(△2) 令和4年度入学生員変更(△2)					
地球社会基盤学類	4	94	3年次 7	404	学士 (理学・工学)	1.02	-	1.06	1.01	-	平成30	同上	令和3年度入学生員変更(△2) 令和4年度入学生員変更(△4)					
生命理工学類	4	56	3年次 2	235	学士 (理学・工学)	1.02	-	1.03	1.01	-	平成30	同上	令和3年度入学生員変更(△2) 令和4年度入学生員変更(△4)					
機械工学類(旧)	4	-	3年次 2	-	学士 (工学)	-	-	-	-	-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止					
電子情報科学類	4	-	3年次 2	-	学士 (工学)	-	-	-	-	-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止					
医薬保健学域																		
医学類	6	112	2年次 5	697	学士 (医学)	1.00	-	1.02	1.00	令和2 令和4	平成20	石川県金沢市宝町13-1	入学生員変更(12) ※臨時定員増継続					
薬学類	6	65	2年次 5	300	学士 (薬学)	1.05	-	1.04	1.03	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学生員変更(30)					
医薬科学類	4	18	2年次 5	54	学士 (生命薬科学・創薬科学)	1.07	-	0.98	-	-	令和3	同上						
保健学類																		
看護学専攻	4	79	3年次 4	331	学士 (看護学)	1.00	-	0.98	-	-	平成20	石川県金沢市小立野5-11-80	令和3年度入学生員変更(△1) 令和4年度編入学生員変更(△4)					
診療放射線技術専攻	4	40	3年次 3	168	学士 (保健学)	1.01	-	1.00	-	-	平成20	同上	令和5年度編入学生員変更(△2)					
検査技術科学専攻	4	40	3年次 3	168	学士 (保健学)	1.01	-	1.01	0.98	-	平成20	同上	令和5年度編入学生員変更(△2)					
理学療法専攻	4	15	3年次 5	75	学士 (保健学)	1.09	-	0.97	-	-	平成20	同上	令和3年度入学生員変更(△5)					
作業療法専攻	4	15	3年次 5	75	学士 (保健学)	1.05	-	0.92	-	-	平成20	同上	令和3年度入学生員変更(△5)					
創薬科学類	4	-	3年次 5	-	学士 (創薬科学)	-	-	-	-	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度学生募集停止					
大学全体	4	1726	2年次 5 3年次 90	7393		-	-	-	-			-						



- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。  
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
（様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。）
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度ＡＣの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。  
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「－」としてください。
  - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
  - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
  - ・「平均入学定員超過率（控除後含む）」及び「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<融合学域 先導学域>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授(学域長)	大竹 茂樹 <令和3年4月> 医学博士
		大学・社会生活論 初学者ゼミⅠ※ プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ) アントレプレナー基礎 地域包括ケアと地方創生 医療制度改革と医療経済※ 先導プロジェクト演習 先導試験
専	教授(学域長)	尾島 恭子 <令和3年4月> 修士(家政学)
		地域概論※ 現代社会を知る※ 消費生活論 生活デザイン論 生活環境学 学術考究 先導プロジェクト演習 先導研究
専	教授	米田 隆 <令和3年4月> 博士(医学)
		健康科学 イノベーションを起こして、起業家になろう2 イノベーションを起こして、起業家になろう4 未来医科学 レギュラトリーサイエンス 未来型ヘルスケアシステム 超高齢化社会と科学技術 医療制度改革と医療経済※ 先導プロジェクト演習 国際インターンシップ
専	教授	中山 晶一朗 <令和3年4月> 博士(工学)
		数理・データサイエンス基礎及び演習※ 超スマートシティと Society5.0※ 世界変革技術論※ 需要予測※ 都市・交通デザイン プロジェクト・マネジメント 先導プロジェクト演習
専	教授	宮地 利明 <令和3年4月> 博士(医学)・博士(工学)
		現代社会を知る※ 社会的な視点から見る医療※ 生命科学的な視点から見る医療※ テクノロジーと医療・健康・介護 AI・IoT健康福祉学 先導プロジェクト演習 先導研究
専	教授	大友 信秀 <令和3年4月> 博士(法学)
		現代社会を知る※ 国際世界と特許 ビジネスと政治 創業支援論 知的財産法 先導プロジェクト演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授(学域長)	大竹 茂樹 <令和3年4月> 医学博士
		大学・社会生活論 初学者ゼミⅠ※ プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ) アントレプレナー基礎 地域包括ケアと地方創生 医療制度改革と医療経済※ 先導プロジェクト演習 先導試験
専	教授(学域長)	尾島 恭子 <令和3年4月> 修士(家政学)
		地域概論※ 現代社会を知る※ 消費生活論 生活デザイン論 生活環境学 学術考究 先導プロジェクト演習 先導研究
専	教授	米田 隆 <令和3年4月> 博士(医学)
		健康科学 イノベーションを起こして、起業家になろう2 イノベーションを起こして、起業家になろう4 未来医科学 レギュラトリーサイエンス 未来型ヘルスケアシステム 超高齢化社会と科学技術 医療制度改革と医療経済※ 先導プロジェクト演習 国際インターンシップ
専	教授	中山 晶一朗 <令和3年4月> 博士(工学)
		数理・データサイエンス基礎及び演習※ 超スマートシティと Society5.0※ 世界変革技術論※ 需要予測※ 都市・交通デザイン プロジェクト・マネジメント 先導プロジェクト演習
専	教授	宮地 利明 <令和3年4月> 博士(医学)・博士(工学)
		現代社会を知る※ 社会的な視点から見る医療※ 生命科学的な視点から見る医療※ テクノロジーと医療・健康・介護 AI・IoT健康福祉学 先導プロジェクト演習 先導研究
専	教授	大友 信秀 <令和3年4月> 博士(法学)
		現代社会を知る※ 国際世界と特許 ビジネスと政治 創業支援論 知的財産法 先導プロジェクト演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授(学域長)	大竹 茂樹 <令和3年4月> 医学博士
		大学・社会生活論 アントレプレナー基礎 地域包括ケアと地方創生 医療制度改革と医療経済※ 先導プロジェクト演習 先導試験
専	教授(学域長)	尾島 恭子 <令和3年4月> 修士(家政学)
		地域概論※ 現代社会を知る※ 消費生活論 生活デザイン論 生活環境学 学術考究 先導プロジェクト演習 先導研究
専	教授	米田 隆 <令和3年4月> 博士(医学)
		健康科学 イノベーションを起こして、起業家になろう2 イノベーションを起こして、起業家になろう4 未来医科学 レギュラトリーサイエンス 未来型ヘルスケアシステム 超高齢化社会と科学技術 医療制度改革と医療経済※ 先導プロジェクト演習 国際インターンシップ
専	教授	中山 晶一朗 <令和3年4月> 博士(工学)
		数理・データサイエンス基礎及び演習※ 超スマートシティと Society5.0※ 世界変革技術論※ 需要予測※ 都市・交通デザイン プロジェクト・マネジメント 先導プロジェクト演習
専	教授	宮地 利明 <令和3年4月> 博士(医学)・博士(工学)
		社会的な視点から見る医療※ 生命科学的な視点から見る医療※ テクノロジーと医療・健康・介護 AI・IoT健康福祉学 先導プロジェクト演習 先導研究
専	教授	大友 信秀 <令和3年4月> 博士(法学)
		現代社会を知る※ 国際世界と特許 ビジネスと政治 創業支援論 知的財産法 先導プロジェクト演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授(学域長)	大竹 茂樹 <令和3年4月> 医学博士
		大学・社会生活論 アントレプレナー基礎 地域包括ケアと地方創生 医療制度改革と医療経済※ 先導プロジェクト演習 先導試験
専	教授(学域長)	尾島 恭子 <令和3年4月> 修士(家政学)
		地域概論※ 現代社会を知る※ 消費生活論 生活デザイン論 生活環境学 学術考究 先導プロジェクト演習 先導研究
専	教授	米田 隆 <令和3年4月> 博士(医学)
		健康科学 イノベーションを起こして、起業家になろう2 イノベーションを起こして、起業家になろう4 未来医科学 レギュラトリーサイエンス 未来型ヘルスケアシステム 超高齢化社会と科学技術 医療制度改革と医療経済※ 先導プロジェクト演習 国際インターンシップ
専	教授	中山 晶一朗 <令和3年4月> 博士(工学)
		数理・データサイエンス基礎及び演習※ 超スマートシティと Society5.0※ 世界変革技術論※ 需要予測※ 都市・交通デザイン プロジェクト・マネジメント 先導プロジェクト演習
専	教授	宮地 利明 <令和3年4月> 博士(医学)・博士(工学)
		社会的な視点から見る医療※ 生命科学的な視点から見る医療※ テクノロジーと医療・健康・介護 AI・IoT健康福祉学 先導プロジェクト演習 先導研究
専	教授	大友 信秀 <令和3年4月> 博士(法学)
		現代社会を知る※ 国際世界と特許 ビジネスと政治 創業支援論 知的財産法 先導プロジェクト演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐無田 光 ＜令和3年4月＞ 博士(経済学)
		地域概論※ 比較制度論 地域政策論 先導プロジェクト演習
専	教授	寒河江 雅彦 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		現代社会を知る※ 需要予測※ 先導プロジェクト演習
専	教授	河崎 洋志 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		社会的な視点から見る医療※ 生命科学的な視点から見る医療※ 先端医学 フィジカル・ブレイン接続 先導プロジェクト演習
専	教授	小俣 正朗 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		数理・データサイエンス基礎及び演習※ 先導数学 学術考究 先導プロジェクト演習
専	教授	佐藤 賢二 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		データサイエンス基礎 テクノロジー基礎※ 機械学習 環境基礎科学※ プログラミングスキル 先導プロジェクト演習
専	教授	秋田 純一 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		イノベーションを起こして、起業家になろう1 イノベーションを起こして、起業家になろう3 デザイン思考 デザイン思考演習 コンピュータとデジタル回路 コンピュータと電子回路 先導プロジェクト演習 先導演習
専	教授	金間 大介 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		イノベーション基礎 社会変動と労働生産性※ マーケティング基礎 マーケティング論 イノベーション・マネジメント 先導プロジェクト演習
専	准教授	南保 英孝 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		AIと未来社会 人工知能 データベース論 アプリ開発 先導プロジェクト演習
専	准教授	藤生 慎 ＜令和3年4月＞ 博士(学術情報学)
		社会変動と労働生産性※ 世界の課題と技術トレンド IoT技術 テクノロジー基礎※ 学術考究 先導プロジェクト演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐無田 光 ＜令和3年4月＞ 博士(経済学)
		地域概論※ 比較制度論 地域政策論 先導プロジェクト演習
専	教授	寒河江 雅彦 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		現代社会を知る※ 需要予測※ 先導プロジェクト演習
専	教授	河崎 洋志 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		社会的な視点から見る医療※ 生命科学的な視点から見る医療※ 先端医学 フィジカル・ブレイン接続 先導プロジェクト演習
専	教授	小俣 正朗 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		数理・データサイエンス基礎及び演習※ 先導数学 学術考究 先導プロジェクト演習
専	教授	佐藤 賢二 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		データサイエンス基礎 テクノロジー基礎※ 機械学習 環境基礎科学※ プログラミングスキル 先導プロジェクト演習
専	教授	秋田 純一 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		イノベーションを起こして、起業家になろう1 イノベーションを起こして、起業家になろう3 デザイン思考 デザイン思考演習 コンピュータとデジタル回路 コンピュータと電子回路 先導プロジェクト演習 先導演習
専	教授	金間 大介 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		イノベーション基礎 社会変動と労働生産性※ マーケティング基礎 マーケティング論 イノベーション・マネジメント 先導プロジェクト演習
専	准教授	南保 英孝 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		AIと未来社会 人工知能 データベース論 アプリ開発 先導プロジェクト演習
専	准教授	藤生 慎 ＜令和3年4月＞ 博士(学術情報学)
		社会変動と労働生産性※ 世界の課題と技術トレンド IoT技術 テクノロジー基礎※ 学術考究 先導プロジェクト演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐無田 光 ＜令和3年4月＞ 博士(経済学)
		地域概論※ 比較制度論 地域政策論 先導プロジェクト演習
専	教授	寒河江 雅彦 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		現代社会を知る※ 需要予測※ 先導プロジェクト演習
専	教授	河崎 洋志 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		社会的な視点から見る医療※ 生命科学的な視点から見る医療※ 先端医学 フィジカル・ブレイン接続 先導プロジェクト演習
専	教授	小俣 正朗 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		数理・データサイエンス基礎及び演習※ 先導数学 学術考究 先導プロジェクト演習
専	教授	佐藤 賢二 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		データサイエンス基礎 <b>アカデミックスキル プレゼン・ディベート論</b> テクノロジー基礎※ 機械学習 環境基礎科学※ プログラミングスキル 先導プロジェクト演習
専	教授	秋田 純一 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		イノベーションを起こして、起業家になろう1 イノベーションを起こして、起業家になろう3 デザイン思考 デザイン思考演習 コンピュータとデジタル回路 コンピュータと電子回路 先導プロジェクト演習 先導演習
専	教授	金間 大介 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		イノベーション基礎 社会変動と労働生産性※ マーケティング基礎 マーケティング論 イノベーション・マネジメント 先導プロジェクト演習
専	准教授	南保 英孝 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		AIと未来社会 人工知能 データベース論 アプリ開発 先導プロジェクト演習
専	准教授	藤生 慎 ＜令和3年4月＞ 博士(学術情報学)
		社会変動と労働生産性※ 世界の課題と技術トレンド IoT技術 テクノロジー基礎※ 学術考究 先導プロジェクト演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐無田 光 ＜令和3年4月＞ 博士(経済学)
		地域概論※ 比較制度論 地域政策論 先導プロジェクト演習
専	教授	寒河江 雅彦 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		現代社会を知る※ 先導プロジェクト演習
専	教授	河崎 洋志 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		社会的な視点から見る医療※ 生命科学的な視点から見る医療※ 先端医学 フィジカル・ブレイン接続 先導プロジェクト演習
専	教授	佐藤 賢二 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		データサイエンス基礎 テクノロジー基礎※ 機械学習 環境基礎科学※ プログラミングスキル 先導プロジェクト演習
専	教授	秋田 純一 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		イノベーションを起こして、起業家になろう3 <b>アカデミックスキル プレゼン・ディベート論</b> デザイン思考 デザイン思考演習 IoT技術 コンピュータとデジタル回路 コンピュータと電子回路 先導プロジェクト演習 先導演習
専	教授	金間 大介 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		<b>アカデミックスキル プレゼン・ディベート論</b> イノベーション基礎 社会変動と労働生産性※ マーケティング基礎 イノベーション・マネジメント 先導プロジェクト演習
専	准教授	南保 英孝 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		AIと未来社会 人工知能 データベース論 アプリ開発 先導プロジェクト演習
専	准教授	藤生 慎 ＜令和3年4月＞ 博士(学術情報学)
		社会変動と労働生産性※ 世界の課題と技術トレンド IoT技術 テクノロジー基礎※ 学術考究 先導プロジェクト演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	河内 幾帆 ＜令和3年4月＞ Ph. D. in Economics (米国)
		環境学とESD アントレプレナーインターンシップ 国際協力体制※ 人の流動と定着※ SDGs基礎 SDGs実践 潜在課題探査分析演習 先導プロジェクト演習
専	准教授	小田桐 拓志 ＜令和3年4月＞ Ph. D. (米国)
		ケーススタディによる応用倫理学 倫理学 世界変革技術論※ 先導プロジェクト演習
専	准教授	ダガン さがの ＜令和3年4月＞ Master of Arts (新国)
		学域GS言語科目Ⅰ/海外実践英語 学域GS言語科目Ⅱ/時事・学術英語 国際協力体制※ 海外実践留学
専	准教授	石崎 有澄美 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		グローバルイノベーション※ 国際協力体制※ 人の流動と定着※ 先導プロジェクト演習
専	講師	高松 博幸 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		アントレプレナー演習Ⅰ アントレプレナー演習Ⅱ 社会的な視点から見る医療※ 生命科学的な視点から見る医療※
専	助教	西脇 ゆり ＜令和3年4月＞ 修士(理学)
		現代社会を知る※ 超スマートシティと Society5.0※ ダイバーシティ促進 テクノロジー基礎※ マテリアル科学 環境基礎科学※
専	助教	高沼 理恵 ＜令和3年4月＞ 修士(政策・メディア)
		プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ) アントレプレナー演習Ⅰ アントレプレナー演習Ⅱ デザイン思考 デザイン思考演習 社会変動と労働生産性※ 異文化理解とキャリア開発 グローバルイノベーション※ 潜在課題探査分析演習
専	助教	唐島 成宙 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		テクノロジー基礎※ レギュラトリーサイエンス 医療制度改革と医療経済※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	河内 幾帆 ＜令和3年4月＞ Ph. D. in Economics (米国)
		環境学とESD アントレプレナーインターンシップ 国際協力体制※ 人の流動と定着※ SDGs基礎 SDGs実践 潜在課題探査分析演習 先導プロジェクト演習
専	准教授	小田桐 拓志 ＜令和3年4月＞ Ph. D. (米国)
		ケーススタディによる応用倫理学 倫理学 世界変革技術論※ 先導プロジェクト演習
専	准教授	ダガン さがの ＜令和3年4月＞ Master of Arts (新国)
		学域GS言語科目Ⅰ/海外実践英語 学域GS言語科目Ⅱ/時事・学術英語 国際協力体制※ 海外実践留学
専	准教授	石崎 有澄美 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		グローバルイノベーション※ 国際協力体制※ 人の流動と定着※ 先導プロジェクト演習
専	講師	高松 博幸 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		アントレプレナー演習Ⅰ アントレプレナー演習Ⅱ 社会的な視点から見る医療※ 生命科学的な視点から見る医療※
専	助教	西脇 ゆり ＜令和3年4月＞ 修士(工学)
		現代社会を知る※ 超スマートシティと Society5.0※ ダイバーシティ促進 テクノロジー基礎※ マテリアル科学 環境基礎科学※
専	助教	高沼 理恵 ＜令和3年4月＞ 修士(政策・メディア)
		プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ) アントレプレナー演習Ⅰ アントレプレナー演習Ⅱ デザイン思考 デザイン思考演習 社会変動と労働生産性※ 異文化理解とキャリア開発 グローバルイノベーション※ 潜在課題探査分析演習
専	助教	唐島 成宙 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		テクノロジー基礎※ レギュラトリーサイエンス 医療制度改革と医療経済※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	河内 幾帆 ＜令和3年4月＞ Ph. D. in Economics (米国)
		環境学とESD <b>アカデミックスキル プレゼン・ディベート論</b> 国際協力体制※ SDGs基礎 SDGs実践 <b>潜在課題探査分析</b> 先導プロジェクト演習
専	准教授	小田桐 拓志 ＜令和3年4月＞ Ph. D. (米国)
		ケーススタディによる応用倫理学 倫理学 世界変革技術論※ 先導プロジェクト演習
専	准教授	ダガン さがの ＜令和3年4月＞ Master of Arts (新国)
		学域GS言語科目Ⅰ/海外実践英語 学域GS言語科目Ⅱ/時事・学術英語 海外実践留学
専	准教授	石崎 有澄美 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		グローバルイノベーション※ 先導プロジェクト演習
専	教授	高松 博幸 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		<b>アカデミックスキル プレゼン・ディベート論</b> アントレプレナー演習Ⅰ アントレプレナー演習Ⅱ <b>アントレプレナーインターン シップ</b> 社会的な視点から見る医療※ 生命科学的な視点から見る医療※ <b>先導プロジェクト演習</b>
専	助教	西脇 ゆり ＜令和3年4月＞ 修士(工学)
		現代社会を知る※ ダイバーシティ促進 テクノロジー基礎※ マテリアル科学 環境基礎科学※
専	助教	高沼 理恵 ＜令和3年4月＞ 修士(政策・メディア)
		<b>異文化間コミュニケーション デザイン思考入門</b> アントレプレナー演習Ⅰ アントレプレナー演習Ⅱ デザイン思考 デザイン思考演習 <b>アントレプレナーインターン シップ</b> 社会変動と労働生産性※ 異文化理解とキャリア開発 グローバルイノベーション※ <b>潜在課題探査分析</b>
専	助教	唐島 成宙 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		テクノロジー基礎※ レギュラトリーサイエンス 医療制度改革と医療経済※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	河内 幾帆 ＜令和3年4月＞ Ph. D. in Economics (米国)
		環境学とESD 国際協力体制※ SDGs基礎 SDGs実践 <b>潜在課題探査分析</b> 先導プロジェクト演習
専	准教授	小田桐 拓志 ＜令和3年4月＞ Ph. D. (米国)
		ケーススタディによる応用倫理学 倫理学 世界変革技術論※ 先導プロジェクト演習
専	准教授	ダガン さがの ＜令和3年4月＞ Master of Arts (新国)
		学域GS言語科目Ⅰ/海外実践英語 学域GS言語科目Ⅱ/時事・学術英語 <b>先導プロジェクト演習</b> 海外実践留学
専	准教授	石崎 有澄美 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		グローバルイノベーション※ 先導プロジェクト演習
専	教授	高松 博幸 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		アントレプレナー演習Ⅰ アントレプレナー演習Ⅱ <b>アントレプレナーインターン シップ</b> 社会的な視点から見る医療※ 生命科学的な視点から見る医療※ <b>先導プロジェクト演習</b>
専	講師	西脇 ゆり ＜令和3年4月＞ 修士(工学)
		現代社会を知る※ ダイバーシティ促進 テクノロジー基礎※ マテリアル科学 環境基礎科学※ <b>先導プロジェクト演習</b>
専	助教	高沼 理恵 ＜令和3年4月＞ 修士(政策・メディア)
		<b>異文化間コミュニケーション デザイン思考入門</b> アントレプレナー演習Ⅰ アントレプレナー演習Ⅱ デザイン思考 デザイン思考演習 <b>アントレプレナーインターン シップ</b> 社会変動と労働生産性※ 異文化理解とキャリア開発 グローバルイノベーション※ <b>潜在課題探査分析</b> <b>先導プロジェクト演習</b>
専	准教授	唐島 成宙 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		<b>健康科学</b> テクノロジー基礎※ レギュラトリーサイエンス 医療制度改革と医療経済※ <b>先導プロジェクト演習</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			
兼任	教授	山崎 光悦 <令和3年4月> 工学博士	山崎 光悦 <令和3年4月> 工学博士		
		初學者ゼミⅠ※ アントレプレナー基礎	初學者ゼミⅠ※ アントレプレナー基礎		
兼任	教授	玉井 郁巳 <令和3年4月> 薬学博士	玉井 郁巳 <令和3年4月> 薬学博士	玉井 郁巳 <令和3年4月> 薬学博士	玉井 郁巳 <令和3年4月> 薬学博士
		アントレプレナーシップⅠ 実践アントレプレナー学 コーヒーと社会 コーヒーと科学 アントレプレナー基礎 アントレプレナーコンテスト/ リーダー養成 アントレプレナーコンテスト/実 践リーダー プレジジョンメディスン	アントレプレナーシップⅠ 実践アントレプレナー学 コーヒーと社会 コーヒーと科学 アントレプレナー基礎 アントレプレナーコンテスト/ リーダー養成 アントレプレナーコンテスト/実 践リーダー プレジジョンメディスン	コーヒーと社会 コーヒーと科学 アントレプレナーコンテスト/ リーダー養成 アントレプレナーコンテスト/実 践リーダー プレジジョンメディスン	アントレプレナーコンテスト/ リーダー養成 アントレプレナーコンテスト/実 践リーダー プレジジョンメディスン
兼任	講師	澤田 幹 <令和3年4月> 経営学修士	澤田 幹 <令和3年4月> 経営学修士	澤田 幹 <令和3年4月> 経営学修士	
		社会変動と労働生産性※ フィンテック基礎とビジネス応 用※ 経営管理論	社会変動と労働生産性※ フィンテック基礎とビジネス応 用※ 経営管理論	経営管理論	
兼任	教授	満保 雅浩 <令和3年4月> 博士(工学)	満保 雅浩 <令和3年4月> 博士(工学)	満保 雅浩 <令和3年4月> 博士(工学)	満保 雅浩 <令和3年4月> 博士(工学)
		情報ネットワーク	情報ネットワーク	情報ネットワーク	情報ネットワーク
兼任	教授	岡田 努 <令和3年4月> 博士(心理学)	岡田 努 <令和3年4月> 博士(心理学)	岡田 努 <令和3年4月> 博士(心理学)	
		心理学概論	心理学概論	心理学概論	
兼任	教授	白石 弘幸 <令和3年4月> 博士(経営情報学)	白石 弘幸 <令和3年4月> 博士(経営情報学)	白石 弘幸 <令和3年4月> 博士(経営情報学)	
		社会変動と労働生産性※ フィンテック基礎とビジネス応 用※ 経営戦略論	社会変動と労働生産性※ フィンテック基礎とビジネス応 用※ 経営戦略論	経営戦略論	
兼任	教授	飯山 宏一 <令和3年4月> 工学博士	飯山 宏一 <令和3年4月> 工学博士	飯山 宏一 <令和3年4月> 工学博士	飯山 宏一 <令和3年4月> 工学博士
		テクノロジー基礎※ センシング論 光学技術論	テクノロジー基礎※ センシング論 光学技術論	テクノロジー基礎※ センシング論 光学技術論	テクノロジー基礎※ センシング論 光学技術論
兼任	教授	塚脇 真二 <令和3年4月> 理学博士	塚脇 真二 <令和3年4月> 理学博士	塚脇 真二 <令和3年4月> 理学博士	塚脇 真二 <令和3年4月> 理学博士
		地学実験 英国諸島の地史Ⅰ 英国諸島の地史Ⅱ 環境動態学概説Ⅰ 環境動態学概説Ⅱ 地球環境論	地学実験 英国諸島の地史Ⅰ 英国諸島の地史Ⅱ 環境動態学概説Ⅰ 環境動態学概説Ⅱ 地球環境論	地学実験 環境動態学概説Ⅰ 環境動態学概説Ⅱ 地球環境論	環境動態学概説Ⅰ 環境動態学概説Ⅱ 地球環境論
兼任	教授	上田 望 <令和3年4月> 博士(文学)	上田 望 <令和3年4月> 博士(文学)	上田 望 <令和3年4月> 博士(文学)	上田 望 <令和3年4月> 博士(文学)
		グローバル時代の文学	グローバル時代の文学	グローバル時代の文学	中国語A1-1 中国語A1-2 中国語A3-1 中国語A3-2
兼任	教授	宇野 文夫 <令和3年4月> 法学士			
		ジャーナリズム論 世界農業遺産「能登の里山里 海」とSDGsを考察するスタ ディ・ツアー			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	太田 亨 <令和3年4月> 修士(文学)
		講義の聴解A 講義の聴解B 日本語で学ぶ論理A 日本語で学ぶ論理B 異文化理解のためのビデオ会議 ディスカッション
兼任	教授	三浦 要 <令和3年4月> 博士(文学)
		哲学(自我論)
兼任	教授	大藪 加奈 <令和3年4月> Ph. D. (英国)
		English for Academic Purposes I English for Academic Purposes II English for Academic Purposes III English for Academic Purposes IV English for Academic Purposes (Retake)
兼任	教授	奥野 正幸 <令和3年4月> 理学博士
		ガラスとクリスタルI ガラスとクリスタルII
兼任	教授	垣内 康孝 <令和3年4月> 博士(学術)
		科学技術と科学方法論
兼任	教授	敦見 由紀子 <令和3年4月> 修士(言語学)
		TOEIC準備 I
兼任	教授	粕谷 雄一 <令和3年4月> 文学修士
		フランス語B-1 フランス語B-2 フランス語C-1 フランス語C-2 ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界1 ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界2
兼任	教授	鎌田 啓一 <令和3年4月> 理学博士
		物理学I A 物理学I B
兼任	教授	小林 恵美子 <令和3年4月> Ph. D. (米国)
		異文化間コミュニケーション

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	太田 亨 <令和3年4月> 修士(文学)
		講義の聴解A 講義の聴解B 日本語で学ぶ論理A 日本語で学ぶ論理B 異文化理解のためのビデオ会議 ディスカッション
兼任	教授	三浦 要 <令和3年4月> 博士(文学)
		哲学(自我論)
兼任	教授	大藪 加奈 <令和3年4月> Ph. D. (英国)
		English for Academic Purposes I English for Academic Purposes II English for Academic Purposes III English for Academic Purposes IV English for Academic Purposes (Retake)
兼任	教授	
兼任	教授	垣内 康孝 <令和3年4月> 博士(学術)
		科学技術と科学方法論
兼任	教授	
兼任	教授	粕谷 雄一 <令和3年4月> 文学修士
		フランス語B-1 フランス語B-2 フランス語C-1 フランス語C-2 ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界1 ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界2
兼任	教授	鎌田 啓一 <令和3年4月> 理学博士
		物理学I A 物理学I B 物理学II A 物理学II B
兼任	教授	小林 恵美子 <令和3年4月> Ph. D. (米国)
		異文化間コミュニケーション

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	太田 亨 <令和3年4月> 修士(文学)
		講義の聴解A 講義の聴解B 日本語で学ぶ論理A 日本語で学ぶ論理B
兼任	教授	三浦 要 <令和3年4月> 博士(文学)
		哲学(自我論)
兼任	教授	大藪 加奈 <令和3年4月> Ph. D. (英国)
		English for Academic Purposes I English for Academic Purposes II English for Academic Purposes III English for Academic Purposes IV English for Academic Purposes (Retake)
兼任	教授	
兼任	教授	垣内 康孝 <令和3年4月> 博士(学術)
		科学技術と科学方法論
兼任	教授	
兼任	教授	粕谷 雄一 <令和3年4月> 文学修士
		フランス語B-1 フランス語B-2 ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界1 ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界2
兼任	教授	鎌田 啓一 <令和3年4月> 理学博士
		物理学I A 物理学I B 物理学II A 物理学II B
兼任	教授	小林 恵美子 <令和3年4月> Ph. D. (米国)
		異文化間コミュニケーション

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	太田 亨 <令和3年4月> 修士(文学)
		講義の聴解A 講義の聴解B 日本語で学ぶ論理A 日本語で学ぶ論理B
兼任	教授	三浦 要 <令和3年4月> 博士(文学)
		哲学(自我論)
兼任	教授	大藪 加奈 <令和3年4月> Ph. D. (英国)
		English for Academic Purposes I English for Academic Purposes II English for Academic Purposes III English for Academic Purposes IV English for Academic Purposes (Retake)
兼任	教授	
兼任	教授	垣内 康孝 <令和3年4月> 博士(学術)
		科学技術と科学方法論
兼任	教授	
兼任	教授	粕谷 雄一 <令和3年4月> 文学修士
		フランス語B-1 フランス語B-2 ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界1 ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界2
兼任	教授	鎌田 啓一 <令和3年4月> 理学博士
		物理学I A 物理学I B 物理学II A 物理学II B
兼任	教授	小林 恵美子 <令和3年4月> Ph. D. (米国)
		異文化間コミュニケーション

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	阪上 るり子 <令和3年4月> Docteur de l'universite de paris-sorbonne (仏国)
		フランス語A (充実クラスⅠ-1) フランス語A (充実クラスⅠ-2)
兼任	教授	佐川 哲也 <令和3年4月> 教育学修士
		地元学A (地域資源調査) 地元学B (聞き書き) ゼミ/角間の里山づくり 春編 ゼミ/角間の里山づくり 秋編
兼任	教授	櫻井 武 <令和3年4月> 工学博士
		化学ⅠA 化学ⅠB 化学ⅡA 化学ⅡB
兼任	教授	澤田 茂保 <令和3年4月> 博士 (情報科学)
		TOEIC準備 (演習)
兼任	教授	鈴木 信雄 <令和3年4月> 博士 (理学)
		海洋生化学演習
兼任	教授	滝野 隆久 <令和3年4月> 博士 (医学)
		細胞・分子生物学
兼任	教授	田邊 浩 <令和3年4月> 文学修士
		地域創造学特別講義C 地域創造学特別講義D 社会変動と労働生産性※
兼任	教授	堤 教朗 <令和3年4月> 博士 (医学)
		国際社会とボランティア
兼任	教授	中谷 壽男 <令和3年4月> 医学博士
		ひとのからだ1 ひとのからだ2 ひとのからだ3 ひとのからだ4

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	阪上 るり子 <令和3年4月> Docteur de l'universite de paris-sorbonne (仏国)
		フランス語A (充実クラスⅠ-1) フランス語A (充実クラスⅠ-2)
兼任	教授	坂本 二郎 <令和3年4月> 博士 (学術)
		デザイン思考入門
兼任	教授	佐川 哲也 <令和3年4月> 教育学修士
		地元学A (地域資源調査) 地元学B (聞き書き) ゼミ/角間の里山づくり 春編 ゼミ/角間の里山づくり 秋編
兼任	教授	櫻井 武 <令和3年4月> 工学博士
		化学ⅠA 化学ⅠB 化学ⅡA 化学ⅡB
兼任	教授	澤田 茂保 <令和3年4月> 博士 (情報科学)
		TOEIC準備 (演習)
兼任	教授	鈴木 信雄 <令和3年4月> 博士 (理学)
		海洋生化学演習
兼任	教授	滝野 隆久 <令和3年4月> 博士 (医学)
		細胞・分子生物学
兼任	教授	田邊 浩 <令和3年4月> 文学修士
		地域創造学特別講義C 地域創造学特別講義D 社会変動と労働生産性※
兼任	教授	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	阪上 るり子 <令和3年4月> Docteur de l'universite de paris-sorbonne (仏国)
		フランス語C-1 フランス語C-2 フランス語A (充実クラスⅠ-1) フランス語A (充実クラスⅠ-2)
兼任	教授	佐川 哲也 <令和3年4月> 教育学修士
		地元学A (地域資源調査) 地元学B (聞き書き) ゼミ/角間の里山づくり 春編 ゼミ/角間の里山づくり 秋編 ローカルキャリアデザインⅠ ローカルキャリアデザインⅡ
兼任	教授	櫻井 武 <令和3年4月> 工学博士
		化学ⅠA 化学ⅠB 化学ⅡA 化学ⅡB
兼任	教授	澤田 茂保 <令和3年4月> 博士 (情報科学)
		TOEIC準備 (演習)
兼任	教授	鈴木 信雄 <令和3年4月> 博士 (理学)
		海洋生化学演習
兼任	教授	滝野 隆久 <令和3年4月> 博士 (医学)
		細胞・分子生物学
兼任	教授	田邊 浩 <令和3年4月> 文学修士
		地域創造学特別講義C 地域創造学特別講義D 社会変動と労働生産性※
兼任	教授	堤 教朗 <令和3年4月> 博士 (医学)
		国際協力体制※
兼任	教授	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	阪上 るり子 <令和3年4月> Docteur de l'universite de paris-sorbonne (仏国)
		フランス語B-1 フランス語B-2 フランス語C-1 フランス語C-2 フランス語A (充実クラスⅠ-1) フランス語A (充実クラスⅠ-2)
兼任	教授	佐川 哲也 <令和3年4月> 教育学修士
		キャリアデザインコーチング 地域協創のアンテナ 社会実装から学ぶ循環経済 ゼミ/角間の里山づくり 春編 ゼミ/角間の里山づくり 秋編 ローカルキャリアデザインⅠ ローカルキャリアデザインⅡ
兼任	教授	澤田 茂保 <令和3年4月> 博士 (情報科学)
		TOEIC準備 (演習)
兼任	教授	鈴木 信雄 <令和3年4月> 博士 (理学)
		海洋生化学演習
兼任	教授	滝野 隆久 <令和3年4月> 博士 (医学)
		細胞・分子生物学
兼任	教授	田邊 浩 <令和3年4月> 文学修士
		地域創造プロジェクト講義C 社会変動と労働生産性※
兼任	教授	堤 教朗 <令和3年4月> 博士 (医学)
		国際協力体制※
兼任	教授	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	南 相環 ＜令和3年4月＞ 文学修士※
		金沢・能登と世界の地域文化 朝鮮語 A 1-1 朝鮮語 A 1-2 朝鮮語 A 2-1 朝鮮語 A 2-2 朝鮮語 A 3-1 朝鮮語 A 3-2 朝鮮語 A 4-1 朝鮮語 A 4-2 朝鮮語 B-1 朝鮮語 B-2 朝鮮語 C-1 朝鮮語 C-2
兼任	教授	平瀬 直樹 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		日本史要説
兼任	教授	深澤 のぞみ ＜令和3年4月＞ 博士(学術)
		アカデミック基礎日本語A アカデミック基礎日本語B
兼任	教授	古畑 徹 ＜令和3年4月＞ 文学修士※
		石川県の市町 金沢の歴史と文化 東洋史要説
兼任	教授	堀井 祐介 ＜令和3年4月＞ 博士(言語文化学)
		道徳教育および宗教教育をグローバルに考える
兼任	教授	本田 光典 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		化学実験
兼任	教授	松井 三枝 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		価値と情動の認知科学
兼任	教授	峯 正志 ＜令和3年4月＞ 文学修士※
		口頭発表 I A 口頭発表 I B 日本事情 A 日本事情 B
兼任	教授	山崎 友也 ＜令和3年4月＞ 法学修士※
		日本国憲法概説
兼任	教授	吉川 弘明 ＜令和3年4月＞ 医学博士
		健康論実践 D 心と体の健康 A 心と体の健康 B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	南 相環 ＜令和3年4月＞ 文学修士※
		金沢・能登と世界の地域文化 朝鮮語 A 1-1 朝鮮語 A 1-2 朝鮮語 A 2-1 朝鮮語 A 2-2 朝鮮語 A 3-1 朝鮮語 A 3-2 朝鮮語 A 4-1 朝鮮語 A 4-2 朝鮮語 B-1 朝鮮語 B-2 朝鮮語 C-1 朝鮮語 C-2
兼任	教授	平瀬 直樹 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		日本史要説
兼任	教授	深澤 のぞみ ＜令和3年4月＞ 博士(学術)
		アカデミック基礎日本語A アカデミック基礎日本語B
兼任	教授	古畑 徹 ＜令和3年4月＞ 文学修士※
		石川県の市町 金沢の歴史と文化 東洋史要説
兼任	教授	堀井 祐介 ＜令和3年4月＞ 博士(言語文化学)
		道徳教育および宗教教育をグローバルに考える
兼任	教授	本田 光典 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		化学実験
兼任	教授	松井 三枝 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		価値と情動の認知科学
兼任	教授	峯 正志 ＜令和3年4月＞ 文学修士※
		口頭発表 A 口頭発表 B 日本事情 A 日本事情 B
兼任	教授	山崎 友也 ＜令和3年4月＞ 法学修士※
		日本国憲法概説
兼任	教授	吉川 弘明 ＜令和3年4月＞ 医学博士
		健康論実践 D 心と体の健康 A 心と体の健康 B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	南 相環 ＜令和3年4月＞ 文学修士※
		金沢・能登と世界の地域文化
兼任	教授	平瀬 直樹 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		日本史要説
兼任	教授	古畑 徹 ＜令和3年4月＞ 文学修士※
		石川県の市町 金沢の歴史と文化 東洋史要説
兼任	教授	堀井 祐介 ＜令和3年4月＞ 博士(言語文化学)
		道徳教育および宗教教育をグローバルに考える
兼任	教授	松井 三枝 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		価値と情動の認知科学
兼任	教授	峯 正志 ＜令和3年4月＞ 文学修士※
		口頭発表 A 口頭発表 B 日本事情 A 日本事情 B
兼任	教授	山崎 友也 ＜令和3年4月＞ 法学修士※
		日本国憲法概説
兼任	教授	吉川 弘明 ＜令和3年4月＞ 医学博士
		健康論実践 D 心と体の健康 A 心と体の健康 B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	古畑 徹 ＜令和3年4月＞ 文学修士※
		石川県の市町 金沢の歴史と文化 東洋史要説
兼任	教授	堀井 祐介 ＜令和3年4月＞ 博士(言語文化学)
		道徳教育および宗教教育をグローバルに考える
兼任	教授	松井 三枝 ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		価値と情動の認知科学
兼任	講師	峯 正志 ＜令和3年4月＞ 文学修士※
		口頭発表 A 口頭発表 B
兼任	教授	山崎 友也 ＜令和3年4月＞ 法学修士※
		日本国憲法概説
兼任	教授	吉川 弘明 ＜令和3年4月＞ 医学博士
		健康論実践 D 心と体の健康 A 心と体の健康 B



専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	大野 浩之 <令和4年4月> 博士(理学)
		クラウド時代の「ものグラミング」概論 シェルスクリプト言語論1 シェルスクリプト言語論2 シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習A シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習B Society 5.0概論A Society 5.0概論B
兼担	教授	林 透 <令和4年4月> 博士(教育)
		デザイン思考入門
兼担	教授	村井 淳志 <令和4年4月> 文学修士
		社会変動と労働生産性※
兼担	教授	木村 正人 <令和4年4月> 博士(理学)
		先導数学
兼担	教授	畑 光彦 <令和4年4月> 博士(工学)
		超スマートシティとSociety5.0※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	大野 浩之 <令和4年4月> 博士(理学)
		クラウド時代の「ものグラミング」概論 シェルスクリプト言語論1 シェルスクリプト言語論2 シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習A シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習B シェルスクリプトを用いた「大規模データ処理」演習A シェルスクリプトを用いた「大規模データ処理」演習B
兼担	教授	林 透 <令和4年4月> 博士(教育)
		デザイン思考入門
兼任	講師	村井 淳志 <令和4年4月> 文学修士
		社会変動と労働生産性※
兼担	教授	木村 正人 <令和4年4月> 博士(理学)
		先導数学
兼担	教授	畑 光彦 <令和4年4月> 博士(工学)
		超スマートシティとSociety5.0※
兼担	教授	浅川 毅 <令和5年4月> 理学博士
		化学I A 化学I B 化学II A 化学II B
兼担	教授	大江 真尋 <令和5年4月> 博士(保健学)
		テクノロジーと医療・健康・介護
兼担	教授	QI HUA <令和5年4月> 博士(文学)(中国)
		中国語C-1 中国語C-2
兼担	教授	小島 治幸 <令和5年4月> 博士(行動科学)
		心理学概論
兼担	教授	青木 麻利子 <令和5年4月> Doctor of Philosophy(米国)
		日本事情A 日本事情B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	阪口 博政 <令和3年4月> 博士(商学)
		管理会計論
兼担	准教授	木村 高宏 <令和3年4月> 博士(政策科学)
		公共政策論
兼担	准教授	高山 雄貴 <令和3年4月> 博士(情報科学)
		プランニング最適化
兼担	准教授	浅井 暁子 <令和3年4月> 修士(文学)
		芸術と自己表現
兼担	准教授	足立 由美 <令和3年4月> 博士(医学)
		健康論実践E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	阪口 博政 <令和3年4月> 博士(商学)
		管理会計論
兼担	准教授	木村 高宏 <令和3年4月> 博士(政策科学)
		公共政策論
兼担	准教授	高山 雄貴 <令和3年4月> 博士(情報科学)
		プランニング最適化
兼担	准教授	浅井 暁子 <令和3年4月> 修士(文学)
		芸術と自己表現
兼担	教授	足立 由美 <令和3年4月> 博士(医学)
		健康論実践E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	阪口 博政 <令和3年4月> 博士(商学)
		管理会計論
兼担	准教授	木村 高宏 <令和3年4月> 博士(政策科学)
		公共政策論
兼担	准教授	高山 雄貴 <令和3年4月> 博士(情報科学)
		プランニング最適化
兼担	准教授	浅井 暁子 <令和3年4月> 修士(文学)
		芸術と自己表現
兼担	教授	足立 由美 <令和3年4月> 博士(医学)
		健康論実践E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	齋藤 峯雄 <令和5年4月> 理学博士
		物理学ⅠA 物理学ⅠB 物理学ⅡA 物理学ⅡB
兼担	教授	菅野 孝史 <令和5年4月> 理学博士
		微分積分学ⅠA 微分積分学ⅠB 微分積分学ⅡA 微分積分学ⅡB 線形代数学ⅠA 線形代数学ⅠB 線形代数学ⅡA 線形代数学ⅡB
兼担	教授	杉山 欣也 <令和5年4月> 博士(文学)
		文学創作実践
兼担	教授	田中 茂雄 <令和5年4月> 博士(工学)
		イノベーションを起こして、起業家になろう1
兼担	教授	八柳 祐一 <令和5年4月> 博士(理学)
		A1入門
兼担	准教授	阪口 博政 <令和3年4月> 博士(商学)
		管理会計論
兼担	准教授	木村 高宏 <令和3年4月> 博士(政策科学)
		公共政策論
兼任	講師	高山 雄貴 <令和3年4月> 博士(情報科学)
		プランニング最適化
兼担	准教授	浅井 暁子 <令和3年4月> 修士(文学)
		芸術と自己表現
兼担	教授	足立 由美 <令和3年4月> 博士(医学)
		健康論実践E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任	准教授	井出 明 <令和3年4月> 博士(情報学)	兼任	准教授	井出 明 <令和3年4月> 博士(情報学)	兼任	准教授	井出 明 <令和3年4月> 博士(情報学)
		異文化体験A 異文化体験B 異文化体験C 異文化体験D 異文化体験E 異文化体験F 異文化体験G 異文化体験H グローバル社会と地域の課題						グローバル社会と地域の課題
兼任	准教授	高山 知明 <令和3年4月> 博士(言語学)	兼任	教授	高山 知明 <令和3年4月> 博士(言語学)	兼任	教授	高山 知明 <令和3年4月> 博士(言語学)
		クリティカル・シンキング						クリティカル・シンキング
兼任	准教授	井町 智彦 <令和3年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	井町 智彦 <令和3年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	井町 智彦 <令和3年4月> 博士(工学)
		コンピュータグラフィクス演習I コンピュータグラフィクス演習II プログラミング演習I プログラミング演習II						コンピュータグラフィクス演習I コンピュータグラフィクス演習II プログラミング演習I プログラミング演習II
兼任	准教授	岩崎 宏 <令和3年4月> 博士(理学)						
		物理の世界						
兼任	准教授	高田 良宏 <令和3年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	高田 良宏 <令和3年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	高田 良宏 <令和3年4月> 博士(工学)
		情報の科学						情報の科学
兼任	准教授	小川 道大 <令和3年4月> Ph.D.(印国)						
		現代世界への歴史学的アプローチ						
兼任	准教授	小田 佳子 <令和3年4月> 博士(体育学)	兼任	准教授	小田 佳子 <令和3年4月> 博士(体育学)			
		エクササイズ&スポーツ 実技						エクササイズ&スポーツ 実技
兼任	准教授	小高 敬寛 <令和3年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	小高 敬寛 <令和3年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	小高 敬寛 <令和3年4月> 博士(文学)
		現代世界への歴史学的アプローチ						現代世界への歴史学的アプローチ
兼任	准教授	河合 晃一 <令和3年4月> 博士(公共経営)	兼任	准教授	河合 晃一 <令和3年4月> 博士(公共経営)	兼任	准教授	河合 晃一 <令和3年4月> 博士(公共経営)
		石川県の行政						石川県の行政
兼任	准教授	菊谷 まり子 <令和3年4月> Ph.D.(Psychology)(英国)	兼任	准教授	菊谷 まり子 <令和3年4月> Ph.D.(Psychology)(英国)	兼任	准教授	菊谷 まり子 <令和3年4月> Ph.D.(Psychology)(英国)
		パーソナリティ心理学						パーソナリティ心理学
兼任	准教授	木村 岳裕 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	木村 岳裕 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	木村 岳裕 <令和3年4月> 博士(医学)
		エクササイズ&スポーツ 実技						エクササイズ&スポーツ 実技

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	木矢 剛智 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		生物学実験
兼任	准教授	上田 長生 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼任	准教授	黒川 英徳 ＜令和3年4月＞ Ph. D. (米国)
		論理学から見る世界 異文化体験A 異文化体験B 異文化体験C 異文化体験D 異文化体験E 異文化体験F 異文化体験G 異文化体験H
兼任	准教授	小島 莊一 ＜令和3年4月＞ 博士(学術)
		上級読解ⅡA 上級読解ⅡB アカデミック・ライティングA アカデミック・ライティングB
兼任	准教授	佐藤 朋子 ＜令和3年4月＞ DOCTORAT (psychoses et etats limites) (仏国)
		フランス語A 1-1 フランス語A 1-2 フランス語A 2-1 フランス語A 2-2 フランス語A 3-1 フランス語A 3-2 フランス語A 4-1 フランス語A 4-2 フランス語A (充実クラスⅡ-1) フランス語A (充実クラスⅡ-2)
兼任	准教授	谷口 洋幸 ＜令和3年4月＞ 博士(法学)
		人権・ジェンダー論
兼任	准教授	吉永 匡史 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼任	准教授	趙 菁 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		中国語A 2-1 中国語A 2-2 中国語A 4-1 中国語A 4-2 中国語B-1 中国語B-2 中国語C-1 中国語C-2 中国語A (充実クラスⅡ-1) 中国語A (充実クラスⅡ-1)
兼任	准教授	西嶋 愉一 ＜令和3年4月＞ 工学修士
		TOEIC準備Ⅱ TOEIC準備Ⅲ TOEIC準備Ⅳ 英語セミナー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	木矢 剛智 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		生物学実験
兼任	准教授	上田 長生 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼任	准教授	小島 莊一 ＜令和3年4月＞ 博士(学術)
		上級読解ⅡA 上級読解ⅡB アカデミック・ライティングA アカデミック・ライティングB
兼任	准教授	佐藤 朋子 ＜令和3年4月＞ DOCTORAT (psychoses et etats limites) (仏国)
		フランス語A 1-1 フランス語A 1-2 フランス語A 2-1 フランス語A 2-2 フランス語A 3-1 フランス語A 3-2 フランス語A 4-1 フランス語A 4-2 フランス語A (充実クラスⅡ-1) フランス語A (充実クラスⅡ-2)
兼任	准教授	吉永 匡史 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼任	准教授	趙 菁 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		中国語A 1-1 中国語A 1-2 中国語A 2-1 中国語A 2-2 中国語A 3-1 中国語A 3-2 中国語A 4-1 中国語A 4-2 中国語B-1 中国語B-2 中国語C-1 中国語C-2 中国語A (充実クラスⅡ-1) 中国語A (充実クラスⅡ-1)
兼任	准教授	西嶋 愉一 ＜令和3年4月＞ 工学修士
		TOEIC準備Ⅰ TOEIC準備Ⅱ TOEIC準備Ⅲ TOEIC準備Ⅳ 英語セミナー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	木矢 剛智 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		生物学実験
兼任	准教授	上田 長生 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼任	准教授	小島 莊一 ＜令和3年4月＞ 博士(学術)
		上級読解ⅠA 上級読解ⅠB 上級読解ⅡA 上級読解ⅡB アカデミック・ライティングA アカデミック・ライティングB
兼任	准教授	佐藤 朋子 ＜令和3年4月＞ DOCTORAT (psychoses et etats limites) (仏国)
		フランス語A 1-1 フランス語A 1-2 フランス語A 2-1 フランス語A 2-2 フランス語A 3-1 フランス語A 3-2 フランス語A 4-1 フランス語A 4-2 フランス語A (充実クラスⅡ-1) フランス語A (充実クラスⅡ-2)
兼任	准教授	吉永 匡史 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼任	教授	趙 菁 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		中国語A 1-1 中国語A 1-2 中国語A 2-1 中国語A 2-2 中国語A 3-1 中国語A 3-2 中国語A 4-1 中国語A 4-2 中国語B-1 中国語B-2 中国語C-1 中国語C-2 中国語A (充実クラスⅡ-1) 中国語A (充実クラスⅡ-2)
兼任	准教授	西嶋 愉一 ＜令和3年4月＞ 工学修士
		TOEIC準備Ⅰ TOEIC準備Ⅱ TOEIC準備Ⅲ TOEIC準備Ⅳ 英語セミナー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	木矢 剛智 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		生物学実験
兼任	准教授	上田 長生 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		日本史・日本文化 <b>日本史要説</b>
兼任	准教授	小島 莊一 ＜令和3年4月＞ 博士(学術)
		上級読解ⅡA 上級読解ⅡB アカデミック・ライティングA アカデミック・ライティングB
兼任	准教授	佐藤 朋子 ＜令和3年4月＞ DOCTORAT (psychoses et etats limites) (仏国)
		フランス語A 1-1 フランス語A 1-2 フランス語A 2-1 フランス語A 2-2 フランス語A 3-1 フランス語A 3-2 フランス語A 4-1 フランス語A 4-2 フランス語A (充実クラスⅡ-1) フランス語A (充実クラスⅡ-2)
兼任	准教授	吉永 匡史 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼任	教授	趙 菁 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		中国語A 2-1 中国語A 2-2 中国語A 4-1 中国語A 4-2 中国語B-1 中国語B-2 中国語A (充実クラスⅡ-2)
兼任	准教授	西嶋 愉一 ＜令和3年4月＞ 工学修士
		TOEIC準備Ⅰ TOEIC準備Ⅱ TOEIC準備Ⅲ TOEIC準備Ⅳ 英語セミナー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	早川 文人 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		ドイツ語A 1-1 ドイツ語A 1-2 ドイツ語A 3-1 ドイツ語A 3-2 ドイツ語A(充実クラスI-1) ドイツ語A(充実クラスI-2)
兼任	准教授	原田 愛 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		中国語A 1-1 中国語A 1-2 中国語A 3-1 中国語A 3-2
兼任	准教授	平松 潤奈 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		ロシア語A 1-1 ロシア語A 1-2 ロシア語A 2-1 ロシア語A 2-2 ロシア語A 3-1 ロシア語A 3-2 ロシア語A 4-1 ロシア語A 4-2 ロシア語B-1 ロシア語B-2 ロシア語C-1 ロシア語C-2
兼任	准教授	深川 美帆 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		上級読解I A 上級読解I B 日本の伝統芸能1 日本の伝統芸能2
兼任	准教授	松田 真希子 ＜令和3年4月＞ 博士(学術)
		口頭発表II A 口頭発表II B
兼任	准教授	村上 裕 ＜令和3年4月＞ 修士(地域政策)
		現代社会における保険の制度と役割
兼任	准教授	村山 孝之 ＜令和3年4月＞ 博士(学術)
		スポーツ科学
兼任	准教授	山下 治和 ＜令和3年4月＞ 法学修士
		行政学の基礎
兼任	准教授	山本 洋 ＜令和3年4月＞ 博士(学術)
		香りと日本文化
兼任	准教授	渡辺 敦子 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy(英国)
		グローバル時代の国際協力

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	早川 文人 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		ドイツ語A 1-1 ドイツ語A 1-2 ドイツ語A 3-1 ドイツ語A 3-2 ドイツ語A(充実クラスI-1) ドイツ語A(充実クラスI-2)
兼任	准教授	平松 潤奈 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		ロシア語A 1-1 ロシア語A 1-2 ロシア語A 2-1 ロシア語A 2-2 ロシア語A 3-1 ロシア語A 3-2 ロシア語A 4-1 ロシア語A 4-2 ロシア語B-1 ロシア語B-2 ロシア語C-1 ロシア語C-2
兼任	准教授	深川 美帆 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		上級読解I A 上級読解I B <b>日本の伝統芸能</b>
兼任	准教授	村上 裕 ＜令和3年4月＞ 修士(地域政策)
		現代社会における保険の制度と役割 <b>現代社会における保険の制度と役割II</b>
兼任	准教授	村山 孝之 ＜令和3年4月＞ 博士(学術)
		スポーツ科学
兼任	准教授	山下 治和 ＜令和3年4月＞ 法学修士
		行政学の基礎
兼任	准教授	山本 洋 ＜令和3年4月＞ 博士(学術)
		香りと日本文化
兼任	准教授	渡辺 敦子 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy(英国)
		グローバル時代の国際協力

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	早川 文人 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		ドイツ語A(充実クラスI-1) ドイツ語A(充実クラスI-2)
兼任	准教授	平松 潤奈 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		ロシア語A 1-1 ロシア語A 1-2 ロシア語A 2-1 ロシア語A 2-2 ロシア語A 3-1 ロシア語A 3-2 ロシア語A 4-1 ロシア語A 4-2 ロシア語B-1 ロシア語B-2 ロシア語C-1 ロシア語C-2
兼任	准教授	深川 美帆 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		アカデミック基礎日本語A アカデミック基礎日本語B <b>日本の伝統芸能</b>
兼任	教授	松田 真希子 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		日本語A 1-1 日本語A 1-2 日本語A 2-1 日本語A 2-2 日本語A 3-1 日本語A 3-2 日本語A 4-1 日本語A 4-2 <b>国際協力体制※</b>
兼任	准教授	村上 裕 ＜令和3年4月＞ 修士(地域政策)
		現代社会における保険の制度と役割I <b>現代社会における保険の制度と役割II</b>
兼任	准教授	村山 孝之 ＜令和3年4月＞ 博士(学術)
		スポーツ科学
兼任	准教授	山下 治和 ＜令和3年4月＞ 法学修士
		行政学の基礎
兼任	准教授	山本 洋 ＜令和3年4月＞ 博士(学術)
		香りと日本文化
兼任	准教授	渡辺 敦子 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy(英国)
		グローバル時代の国際協力 <b>国際協力体制※</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	早川 文人 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		ドイツ語A(充実クラスI-1) ドイツ語A(充実クラスI-2)
兼任	准教授	平松 潤奈 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		ロシア語A 1-1 ロシア語A 1-2 ロシア語A 2-1 ロシア語A 2-2 ロシア語A 3-1 ロシア語A 3-2 ロシア語A 4-1 ロシア語A 4-2 ロシア語B-1 ロシア語B-2 ロシア語C-1 ロシア語C-2
兼任	准教授	深川 美帆 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		アカデミック基礎日本語A アカデミック基礎日本語B <b>日本の伝統芸能</b>
兼任	准教授	松田 真希子 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		日本語A 1-1 日本語A 1-2 日本語A 2-1 日本語A 2-2 日本語A 3-1 日本語A 3-2 日本語A 4-1 日本語A 4-2 <b>国際協力体制※</b>
兼任	准教授	村上 裕 ＜令和3年4月＞ 修士(地域政策)
		現代社会における保険の制度と役割I <b>現代社会における保険の制度と役割II</b>
兼任	准教授	村山 孝之 ＜令和3年4月＞ 博士(学術)
		スポーツ科学
兼任	准教授	山下 治和 ＜令和3年4月＞ 法学修士
		行政学の基礎
兼任	准教授	山本 洋 ＜令和3年4月＞ 博士(学術)
		香りと日本文化
兼任	准教授	渡辺 敦子 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy(英国)
		グローバル時代の国際協力 <b>国際協力体制※</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	齋藤 毅 ＜令和3年4月＞ 博士（産業関係学）
		国際経営論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	齋藤 毅 ＜令和3年4月＞ 博士（産業関係学）
		国際経営論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	佐藤 文彦 ＜令和4年4月＞ Dr. phil. (韓国)
		ドイツ語A1-1 ドイツ語A1-2 ドイツ語A3-1 ドイツ語A3-2
兼任	准教授	藤田 隆行 ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		ソーシャルビジネス概論 能登・地域活性化演習 I 能登・地域活性化演習 II
兼任	准教授	渡辺 達雄 ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		地域のトップリーダーを繋ぐ I 地域のトップリーダーを繋ぐ II
兼任	准教授	中西 航 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		シェアリングエコノミー
兼任	准教授	岡本 理恵 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		現代社会を知る※
兼任	准教授	松本 拓史 ＜令和4年4月＞ 博士（経営学）
		フィンテック基礎とビジネス応用 超スマートシティとSociety5.0 ※ ファイナンス基礎 ESG投資
兼任	講師	齋藤 毅 ＜令和3年4月＞ 博士（産業関係学）
		国際経営論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	佐藤 文彦 ＜令和4年4月＞ Dr. phil. (韓国)
		グローバル時代の文学 ドイツ語A1-1 ドイツ語A1-2 ドイツ語A3-1 ドイツ語A3-2
兼任	准教授	藤田 隆行 ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		石川未来プロジェクト I 石川未来プロジェクト II ソーシャルビジネス概論 能登・地域活性化演習 I 能登・地域活性化演習 II
兼任	准教授	渡辺 達雄 ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		地域のトップリーダーを繋ぐ I 地域のトップリーダーを繋ぐ II
兼任	准教授	中西 航 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		シェアリングエコノミー 需要予測※
兼任	准教授	岡本 理恵 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		現代社会を知る※
兼任	准教授	松本 拓史 ＜令和4年4月＞ 博士（経営学）
		フィンテック基礎とビジネス応用 超スマートシティとSociety5.0 ※ ファイナンス基礎 ESG投資
兼任	准教授	大野 直樹 ＜令和4年4月＞ 博士（保健学）
		AI・IoT健康福祉学
兼任	准教授	片桐 孝和 ＜令和5年4月＞ 博士（保健学）
		テクノロジーと医療・健康・介護
兼任	准教授	THELEN TIMO ＜令和5年4月＞ Master of Arts (独逸)
		ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語C-1 ドイツ語C-2
兼任	准教授	米田 貴 ＜令和5年4月＞ 博士（保健学）
		AI・IoT健康福祉学
兼任	講師	齋藤 毅 ＜令和3年4月＞ 博士（産業関係学）
		国際経営論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	川越 謙一 ＜令和3年4月＞ 博士(数理学)	兼任	講師	川越 謙一 ＜令和3年4月＞ 博士(数理学)	兼任	講師	川越 謙一 ＜令和3年4月＞ 博士(数理学)	兼任	講師	川越 謙一 ＜令和3年4月＞ 博士(数理学)
		数学的発想法			論理学と数学の基礎			論理学と数学の基礎			論理学と数学の基礎
兼任	講師	佐々木 葉月 ＜令和3年4月＞ 博士(国際公共政策)	兼任	講師	佐々木 葉月 ＜令和3年4月＞ 博士(国際公共政策)	兼任	講師	佐々木 葉月 ＜令和3年4月＞ 博士(国際公共政策)	兼任	講師	佐々木 葉月 ＜令和3年4月＞ 博士(国際公共政策)
		グローバル時代の政治経済学			グローバル時代の政治経済学			グローバル時代の政治経済学			グローバル時代の政治経済学
兼任	講師	眞住 優助 ＜令和3年4月＞ Ph.D.(米国)	兼任	講師	眞住 優助 ＜令和3年4月＞ Ph.D.(米国)	兼任	講師	眞住 優助 ＜令和3年4月＞ Ph.D.(米国)	兼任	准教授	眞住 優助 ＜令和3年4月＞ Ph.D.(米国)
		グローバル時代の社会学			グローバル時代の社会学			グローバル時代の社会学 人の流動と定着			グローバル時代の社会学 人の流動と定着
兼任	講師	松浦 義昭 ＜令和3年4月＞ 修士(経営科学)	兼任	講師	松浦 義昭 ＜令和3年4月＞ 修士(経営科学)	兼任	講師	松浦 義昭 ＜令和3年4月＞ 修士(経営科学)	兼任	講師	松浦 義昭 ＜令和3年4月＞ 修士(経営科学)
		統計学から未来を見る シェアリングエコノミー ファイナンス基礎 ESG投資			統計学から未来を見る シェアリングエコノミー ファイナンス基礎 ESG投資			統計学から未来を見る ESG投資			統計学から未来を見る
			兼任	講師	飯田 玲子 ＜令和3年4月＞ 博士(地域研究)	兼任	講師	飯田 玲子 ＜令和3年4月＞ 博士(地域研究)	兼任	講師	飯田 玲子 ＜令和3年4月＞ 博士(地域研究)
					現代社会と人権			現代社会と人権 国際協力体制※			現代社会と人権 国際協力体制※
						兼任	講師	有賀 三夏 ＜令和4年4月＞ Master of Arts(米国)	兼任	講師	有賀 三夏 ＜令和4年4月＞ 博士(知識科学)
								AI入門			アカデミックスキル プレゼン・ディベート論 デザイン思考
			兼任	講師	佐藤 圭 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)	兼任	講師	佐藤 圭 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)	兼任	講師	佐藤 圭 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
					地球生物圏と人間			地球生物圏と人間			地球生物圏と人間
			兼任	講師	鈴木 智気 ＜令和4年4月＞ 博士(商学)	兼任	講師	鈴木 智気 ＜令和4年4月＞ 博士(商学)	兼任	講師	鈴木 智気 ＜令和4年4月＞ 博士(商学)
					社会変動と労働生産性※			社会変動と労働生産性※			社会変動と労働生産性※ 経営管理論
			兼任	講師	ZHANG Jing ＜令和4年4月＞ 博士(マネジメント)	兼任	講師	ZHANG Jing ＜令和4年4月＞ 博士(マネジメント)	兼任	講師	ZHANG Jing ＜令和4年4月＞ 博士(マネジメント)
					社会変動と労働生産性※			社会変動と労働生産性※			社会変動と労働生産性※ マーケティング論
			兼任	講師	大澤 隆将 ＜令和5年4月＞ PhD(英国)	兼任	講師	大澤 隆将 ＜令和5年4月＞ PhD(英国)	兼任	講師	大澤 隆将 ＜令和5年4月＞ PhD(英国)
					地域社会と文化人類学			地域社会と文化人類学			地域社会と文化人類学
			兼任	講師	西村 英希 ＜令和5年4月＞ 博士(文学)	兼任	講師	西村 英希 ＜令和5年4月＞ 博士(文学)	兼任	講師	西村 英希 ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
					中国語A(充実クラスⅡ-1)			中国語A(充実クラスⅡ-1)			中国語A(充実クラスⅡ-1)
兼任	助教	山口 裕通 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)	兼任	助教	山口 裕通 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)	兼任	助教	山口 裕通 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)	兼任	助教	山口 裕通 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		数理統計学基礎 データサイエンス実践			数理統計学基礎 データサイエンス実践			数理統計学基礎 データサイエンス実践			数理統計学基礎 需要予測※ データサイエンス実践

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	榎本 文彦 <令和3年4月> 博士(理学)
		微分積分学ⅠA 微分積分学ⅠB 微分積分学ⅡA 微分積分学ⅡB 線形代数学ⅠA 線形代数学ⅠB 線形代数学ⅡA 線形代数学ⅡB
兼任	助教	金子 浩 <令和3年4月> 博士(理学)
		物理学実験
兼任	助教	北村 健二 <令和3年4月> Ph. D. (加国)
		里山里海体験実習 in 能登半島 里山概論
兼任	助教	木下 健 <令和3年4月> 博士(医学)
		細胞・分子生物学
兼任	助教	KLACANSKA JANA <令和3年4月> Master of Arts (独国)
		ドイツ語A2-1 ドイツ語A2-2 ドイツ語A4-1 ドイツ語A4-2 ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語C-1 ドイツ語C-2 ドイツ語A(充実クラスⅡ-1) ドイツ語A(充実クラスⅡ-2)
兼任	助教	佐藤 智哉 <令和3年4月> Ph. D. (米国)
		地域「超」体験プログラム
兼任	助教	佐藤 竜二 <令和3年4月> 修士(人間・環境学)※
		多民族・多文化共生の未来を探る
兼任	助教	田中 源吾 <令和3年4月> 博士(理学)
		地球生物圏と人間

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	榎本 文彦 <令和3年4月> 博士(理学)
		微分積分学ⅠA 微分積分学ⅠB 微分積分学ⅡA 微分積分学ⅡB 線形代数学ⅠA 線形代数学ⅠB 線形代数学ⅡA 線形代数学ⅡB
兼任	助教	小笠原 知子 <令和3年4月> Master of Science (米国)
		異文化体験A 異文化体験B 異文化体験C 異文化体験D 異文化体験E 異文化体験F 異文化体験G 異文化体験H
兼任	助教	木下 健 <令和3年4月> 博士(医学)
		細胞・分子生物学
兼任	助教	KLACANSKA JANA <令和3年4月> Master of Arts (独国)
		ドイツ語A2-1 ドイツ語A2-2 ドイツ語A4-1 ドイツ語A4-2 ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語C-1 ドイツ語C-2 ドイツ語A(充実クラスⅡ-1) ドイツ語A(充実クラスⅡ-2)
兼任	助教	佐藤 智哉 <令和3年4月> Ph. D. (米国)
		地域「超」体験プログラム
兼任	講師	田中 源吾 <令和3年4月> 博士(理学)
		地球生物圏と人間
兼任	助教	茅原 崇徳 <令和3年4月> 博士(工学)
		デザイン思考入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	榎本 文彦 <令和3年4月> 博士(理学)
		微分積分学ⅠA 微分積分学ⅠB 微分積分学ⅡA 微分積分学ⅡB 線形代数学ⅠA 線形代数学ⅠB 線形代数学ⅡA 線形代数学ⅡB
兼任	助教	小笠原 知子 <令和3年4月> Master of Science (米国)
		異文化体験A 異文化体験B 異文化体験C 異文化体験D 異文化体験E 異文化体験F 異文化体験G 異文化体験H
兼任	助教	木下 健 <令和3年4月> 博士(医学)
		細胞・分子生物学
兼任	助教	KLACANSKA JANA <令和3年4月> Master of Arts (独国)
		ドイツ語A2-1 ドイツ語A2-2 ドイツ語A4-1 ドイツ語A4-2 ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語C-1 ドイツ語C-2 ドイツ語A(充実クラスⅡ-1) ドイツ語A(充実クラスⅡ-2)
兼任	准教授	佐藤 智哉 <令和3年4月> Ph. D. (米国)
		未来デザインプラクティス

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	榎本 文彦 <令和3年4月> 博士(理学)
		微分積分学ⅠA 微分積分学ⅠB 微分積分学ⅡA 微分積分学ⅡB 線形代数学ⅠA 線形代数学ⅠB 線形代数学ⅡA 線形代数学ⅡB
兼任	助教	小笠原 知子 <令和3年4月> Master of Science (米国)
		異文化体験A 異文化体験B 異文化体験C 異文化体験D 異文化体験E 異文化体験F 異文化体験G 異文化体験H
兼任	助教	木下 健 <令和3年4月> 博士(医学)
		細胞・分子生物学
兼任	助教	KLACANSKA JANA <令和3年4月> Master of Arts (独国)
		ドイツ語A2-1 ドイツ語A2-2 ドイツ語A4-1 ドイツ語A4-2 ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語C-1 ドイツ語C-2 ドイツ語A(充実クラスⅡ-1) ドイツ語A(充実クラスⅡ-2)
兼任	准教授	佐藤 智哉 <令和3年4月> Ph. D. (米国)
		未来デザインプラクティス



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	東 昭孝 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		Pythonデータ分析入門
兼任	助教	PHILLIPPS JEREMY DAVID ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼任	助教	三橋 了爾 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		化学の世界
兼任	助教	森 祥寛 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		クラウド時代の「ものグラミング」概論 シェルスクリプト言語論 シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習 プレゼンテーション演習A プレゼンテーション演習B 動画配信サービスを用いた情報発信演習A 動画配信サービスを用いた情報発信演習B Society 5.0概論
兼任	助教	伊 一喜 ＜令和3年4月＞ 博士(社会福祉学)
		生活と社会保障
兼任	講師	井上 克己 ＜令和3年4月＞ 理学博士
		統計数学A 統計数学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	東 昭孝 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		Pythonデータ分析入門
兼任	助教	PHILLIPPS JEREMY DAVID ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼任	助教	三橋 了爾 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		インテグレートド科学
兼任	助教	森 祥寛 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		クラウド時代の「ものグラミング」概論 シェルスクリプト言語論 シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習 プレゼンテーション演習A プレゼンテーション演習B 動画配信サービスを用いた情報発信演習A 動画配信サービスを用いた情報発信演習B Society 5.0概論
兼任	助教	伊 一喜 ＜令和3年4月＞ 博士(社会福祉学)
		生活と社会保障
兼任	講師	井上 克己 ＜令和3年4月＞ 理学博士
		統計数学A 統計数学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	東 昭孝 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		Pythonデータ分析入門
兼任	助教	PHILLIPPS JEREMY DAVID ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼任	助教	三橋 了爾 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		インテグレートド科学
兼任	助教	森 祥寛 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		プレゼンテーション演習A プレゼンテーション演習B 動画配信サービスを用いた情報発信演習A 動画配信サービスを用いた情報発信演習B
兼任	助教	伊 一喜 ＜令和3年4月＞ 博士(社会福祉学)
		生活と社会保障
兼任	助教	日比野 由利 ＜令和4年4月＞ 博士(保健学)
		ダイバーシティ促進 世界変革技術論※
兼任	助教	坂谷 智也 ＜令和5年4月＞ 博士(保健学)
		AI・IoT健康福祉学
兼任	助教	苅谷 千尋 ＜令和5年4月＞ 博士(政策科学)
		学域横断的プロジェクト入門
兼任	助教	和田 啓吾 ＜令和5年4月＞ 博士(機能数理学)
		数理・データサイエンス基礎及び演習
兼任	講師	井上 克己 ＜令和3年4月＞ 理学博士
		統計数学A 統計数学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	東 昭孝 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		Pythonデータ分析入門 Unityゲーム開発演習 リアルタイムVFX演習
兼任	助教	PHILLIPPS JEREMY DAVID ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼任	助教	三橋 了爾 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		インテグレートド科学
兼任	助教	森 祥寛 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		プレゼンテーション演習A プレゼンテーション演習B 動画配信サービスを用いた情報発信演習A 動画配信サービスを用いた情報発信演習B
兼任	助教	伊 一喜 ＜令和3年4月＞ 博士(社会福祉学)
		生活と社会保障
兼任	助教	日比野 由利 ＜令和4年4月＞ 博士(保健学)
		ダイバーシティ促進 世界変革技術論※
兼任	助教	坂谷 智也 ＜令和5年4月＞ 博士(保健学)
		AI・IoT健康福祉学
兼任	助教	苅谷 千尋 ＜令和5年4月＞ 博士(政策科学)
		学域横断的プロジェクト入門
兼任	助教	和田 啓吾 ＜令和5年4月＞ 博士(機能数理学)
		数理・データサイエンス基礎及び演習
兼任	講師	井上 克己 ＜令和3年4月＞ 理学博士
		統計数学A 統計数学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	雄谷 ソニア 啓子 ＜令和3年4月＞ マドリード工芸大学大学院建築学専攻修了	スペイン語A1-1 スペイン語A1-2 スペイン語A2-1 スペイン語A2-2 スペイン語A3-1 スペイン語A3-2 スペイン語A4-1 スペイン語A4-2 スペイン語B-1 スペイン語B-2 スペイン語C-1 スペイン語C-2	兼任	講師	雄谷 ソニア 啓子 ＜令和3年4月＞ マドリード工芸大学大学院建築学専攻修了	スペイン語A1-1 スペイン語A1-2 スペイン語A2-1 スペイン語A2-2 スペイン語A3-1 スペイン語A3-2 スペイン語A4-1 スペイン語A4-2 スペイン語B-1 スペイン語B-2 スペイン語C-1 スペイン語C-2	兼任	講師	雄谷 ソニア 啓子 ＜令和3年4月＞ マドリード工芸大学大学院建築学専攻修了	スペイン語A1-1 スペイン語A1-2 スペイン語A2-1 スペイン語A2-2 スペイン語A3-1 スペイン語A3-2 スペイン語A4-1 スペイン語A4-2 スペイン語B-1 スペイン語B-2 スペイン語C-1 スペイン語C-2
				兼任	講師	宋 有孝 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)	朝鮮語A1-1 朝鮮語A1-2 朝鮮語A2-1 朝鮮語A2-2 挑戦語A3-1 朝鮮語A3-2 朝鮮語A4-1 朝鮮語A4-2	兼任	講師	宋 有孝 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)	朝鮮語A1-1 朝鮮語A1-2 朝鮮語A2-1 朝鮮語A2-2 挑戦語A3-1 朝鮮語A3-2 朝鮮語A4-1 朝鮮語A4-2
				兼任	講師	CHOI JUNGAH ＜令和4年4月＞ 博士(理学)	朝鮮語B-1 朝鮮語B-2 朝鮮語C-1 朝鮮語C-2	兼任	講師	CHOI JUNGAH ＜令和4年4月＞ 博士(理学)	朝鮮語B-1 朝鮮語B-2 朝鮮語C-1 朝鮮語C-2
				兼任	講師	桑島 正樹 ＜令和5年4月＞ 修士(工学)	都市・交通デザイン	兼任	講師	桑島 正樹 ＜令和5年4月＞ 修士(工学)	都市・交通デザイン
				兼任	講師	武田 昭文 ＜令和5年4月＞ 修士(文学)	ロシア語A1-1 ロシア語A1-2 ロシア語C-1 ロシア語C-2	兼任	講師	武田 昭文 ＜令和5年4月＞ 修士(文学)	ロシア語A1-1 ロシア語A1-2 ロシア語C-1 ロシア語C-2
				兼任	講師	苗田 敏美 ＜令和5年4月＞ 修士(言語教育)	日本語A2-1 日本語A2-2 日本語A3-1 日本語A3-2	兼任	講師	苗田 敏美 ＜令和5年4月＞ 修士(言語教育)	日本語A2-1 日本語A2-2 日本語A3-1 日本語A3-2
				兼任	講師	野林 晴彦 ＜令和5年4月＞ 博士(経営学)	経営戦略論	兼任	講師	野林 晴彦 ＜令和5年4月＞ 博士(経営学)	経営戦略論
				兼任	講師	星 康美 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)	日本語A1-1 日本語A1-2	兼任	講師	星 康美 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)	日本語A1-1 日本語A1-2
				兼任	講師	本田 弘之 ＜令和5年4月＞ 博士(日本語教育学)	上級読解IA 上級読解IB	兼任	講師	本田 弘之 ＜令和5年4月＞ 博士(日本語教育学)	上級読解IA 上級読解IB



(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・西脇(秋根)ゆり助教の学位取得
- ・科目の見直しにより、宇野文夫教授、大塚浩史教授、奥野正幸教授、数見由紀子教授、堤敦朗教授、中谷壽男教授、本田光典准教授、岩崎宏准教授、小川道大准教授、黒川英徳准教授、谷口洋幸准教授、原田愛准教授、松田(白石)真希子准教授、金子浩助教、北村健二助教、佐藤竜二助教、井上克己講師の兼任・兼任を取り消し。
- ・科目の見直しにより、坂本二郎教授、小高敬寛准教授、渡辺敦子准教授、飯田玲子講師、小笠原知子助教、茅原崇徳助教を兼任教員に追加。
- ・唐寧准教授(兼任)の職階を准教授から教授に変更。
- ・高山知明准教授(兼任)の職階を准教授から教授に訂正。
- ・足立由美准教授(兼任)の職階を准教授から教授に変更。
- ・澤田幹講師を兼任から兼任へ変更。
- ・田中源吾助教の職階を助教から講師に、兼任から兼任へ変更。
- ・玉井郁巳教授、鎌田啓一教授、峯正志教授、井出明准教授、高田良宏准教授、趙菁准教授、西嶋倫一准教授、深川美帆准教授、村上裕准教授、川越謙一講師、三橋了爾助教を担当授業科目を変更。

【令和4年度】

- ・大竹茂樹教授、宮地利明教授、佐藤賢二教授「R4年2月教員審査済」、河内幾帆准教授「R4年2月教員審査済」、ダガンさかの准教授、石崎有澄美准教授、西脇(秋根)ゆり助教、高沼(村上)理恵助教「R4年2月教員審査済」、玉井郁巳教授、澤田幹講師、塚脇真二教授、太田亨教授、阪上り子教授、佐川哲也教授、井町智彦准教授、高田良宏准教授、小島莊一准教授、早川文人准教授、深川美帆准教授、渡辺敦子准教授、飯田玲子講師、眞住優助講師、松浦義昭講師、森祥寛助教の担当授業科目を変更。
- ・高松博幸の職階を講師から教授に変更し、担当授業科目を変更。「R4年2月教員審査済」
- ・科目の見直しにより、山崎光悦教授、坂本二郎教授、深澤のぞみ教授、小田佳子准教授、田中源吾講師、茅原崇徳助教の兼任・兼任を取り消し。
- ・白石弘幸教授、粕谷雄一教授、南相環教授を兼任・教授から兼任・講師へ変更し、担当授業科目を変更。
- ・科目の見直しにより、堤敦朗教授、大野浩之教授、林透教授、村井淳志教授、木村正人教授、松田(白石)真希子教授、佐藤文彦准教授、篠田隆行准教授、渡辺達雄准教授、中西航准教授、岡本理恵准教授、松本拓史准教授、畑彦彦教授、有賀三夏(てるみ)講師、佐藤圭講師、鈴木智気講師、ZHANG Jing講師、日比野由利助教を兼任教員に追加。
- ・科目の見直しにより、宋有宰、CHOI JUNGHAHを兼任教員に追加。
- ・趙菁准教授の職階を准教授から教授に変更。
- ・佐藤智哉の職階を助教から准教授に変更し、担当授業科目名を変更。

【令和5年度】

- ・ダガンさかの准教授、金間大介教授、秋田純一教授、高沼(村上)理恵助教の担当授業科目を変更。「R5年2月教員審査済」
- ・西脇(秋根)ゆりの職階を助教から講師に変更し、担当授業科目を変更。「R5年2月教員審査済」
- ・唐島成宙の職階を助教から准教授に変更し、担当授業科目を変更。「R4年8月教員審査済」
- ・有賀三夏(てるみ)兼任・講師の学位取得、担当授業科目を変更。
- ・村井淳志を兼任・教授から兼任・講師へ変更。
- ・峯正志を兼任・教授から兼任・講師へ変更し、担当授業科目を変更。
- ・高山雄貴を兼任・准教授から兼任・講師へ変更。
- ・米田隆教授、寒河江雅彦教授、佐藤賢二教授、河内幾帆准教授、高松博幸教授、上田望教授、阪上り子教授、佐川哲也教授、田邊浩教授、大野浩之教授、上田長生准教授、小島莊一准教授、趙菁教授、篠田隆行准教授、中西航准教授、松本拓史准教授、松浦義昭講師、鈴木智気講師、ZHANG Jing講師、山口裕通助教、KLACANSKA JANA助教、東昭孝助教の担当授業科目を変更。
- ・科目の見直しにより、小俣正朗教授、澤田幹講師、岡田努教授、白石弘幸講師、粕谷雄一講師、鎌田啓一教授、櫻井武教授、南相環講師、平瀬直樹教授、井町智彦准教授、平松(兼松)潤奈准教授、松田(白石)真希子教授、山本洋准教授、榎本文彦助教の兼任・兼任を取り消し。
- ・科目の見直しにより、杉山欣也教授、浅川毅教授、大江真琴教授、齊木麻利子教授、齋藤峯雄教授、菅野孝史教授、八柳祐一教授、QI HUA教授、田中茂雄教授、小島治幸教授、大野直樹准教授、片桐孝和准教授、THELEN TIMO准教授、米田真准教授、大澤隆将講師、西村英希講師、板谷智也助教、苅谷干尋助教、和田啓吾助教を兼任教員に追加。
- ・科目の見直しにより、桑島正樹講師、本田弘之講師、武田昭文講師、BONDARENKO OXANA講師、苗田敏美講師、星摩美講師、山中里紗講師、野林晴彦講師を兼任教員に追加。
- ・佐藤文彦を兼任・准教授から兼任・教授に変更し、担当授業科目を変更。
- ・井出明を兼任・准教授から兼任・教授に変更。
- ・眞住優助を兼任・講師から兼任・准教授に変更

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A・C教員審査)を受けてください。**A・C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ A・C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
	7
14	
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。  
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
13	6	1	3	23	0	13	7	1	1	22	0
(13)	(6)	(1)	(3)	(23)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
13	7	1	1	22	0	13	7	1	1	22	0
[ 0 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ Δ2 ]	[ Δ1 ]	(0)	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ Δ2 ]	[ Δ1 ]	(0)

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合は、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{22}{23} = \boxed{95.65} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{22} = \boxed{4.54} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{23} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。  
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	小俣 正朗	必修	英語・データサイエンス基礎及び演習	②	R5.3.31付け65歳で定年退職(5)				
			選択	先導数学	②					
			選択	学術考究	①					
			必修	先導プロジェクト演習	①					
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	2	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	2	科目	計	2	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員が計画時より1名減っているが、大学設置規基準で定められている教員数は、十分上回っている。また、退職教員の担当科目は、専任教員又は兼担教員が授業担当することとしており、学生の教育上、問題ない。後任の授業担当教員名に授業科目のシラバスを修正し、大学のWebサイトで公開すると共に、授業時間割表掲載により学生への周知を図っている。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>認可時</p>	<p>本学類にとって重要と考えられる3つのコアエリア（例えば、経営や財政、金融といった分野）について、基礎の知識を十分に修得できるような教育課程となるよう、将来的な専任教員の確保や教育課程の充実に向けた検討も含め、本学類として必要な体制及びプログラムの整備に努めること。</p>	<p>令和3年4月に融合学域の専任教員を中心とする「融合系教育研究会議」を設置し、その下に管理運営に係る重要事項を専門的に調査・企画立案するため「総務・会計委員会」「教務・学生生活委員会」等、5つの委員会を設置した。専任教員の確保については「総務・会計委員会」が、プログラム整備については「教務・学生生活委員会」が担い、それぞれ審議する体制を構築している。なお、既に、金融や経営、デザイン思考（STEAM教育）を担う新たな専任教員の確保に向けて公募中であり、教育課程の充実に向けた取組みを継続して行っている。（3）</p> <p>公募中であつた金融や経営の教育を担う教員1名、デザイン思考（STEAM教育）を担う教員1名の計2名が令和4年4月に着任するなど、教育体制の充実を図っている。また、総務・会計委員会や教務・学生生活委員会において、教育体制の更なる充実、学年進行に合せた教育課程全体のブラッシュアップに向けて引き続き検討を行った。（4）</p> <p>先導プロジェクト演習担当教員をAC審査の上増員し、プロジェクトの多様性を広げ、教育課程充実を図った。</p> <p>総務・会計委員会では、教員配置WGを立ち上げ、今後のさらなる綿密な教員配置計画を作成し、経営戦略論の教員公募に向けた手続を進めた。教務・学生生活委員会では、教育体制の更なる充実、学年進行に合せた教育課程全体のブラッシュアップに向け、検討を継続している。特に、4年次開講科目の確立科目については、確立科目WGにおいて、具体的な運用方法や教育方法を重点的に検討を開始し、今年度中に学生に示すこととしている。（5）</p>	<p>設置した委員会等において検討し、教育課程の充実にも努めるほか、教員組織の更なる充実に向け、必要な科目担当教員の公募などの体制整備を行う。（3）</p> <p>設置した委員会等において引き続き検討し、教育課程の充実にも努めるほか、教員組織の更なる充実に向け、必要な科目担当教員の公募などの体制整備を行う。（4）（5）</p>
<p>（令和2年）</p>	<p>【意見伺い】遵守事項</p>	<p>履行中</p>	



<p>認可時</p>	<p>学生に対するきめ細かい支援や幅広い学修を提供するとともに、学生の関心や課題意識を固定化させないためには、教員等による指導が重要であり、FDの実施について一定の記載はあるものの、ディプロマ・ポリシーとそれに対応する各科目の位置づけやねらいについて教員間の理解促進を図るとともに、本学類の教員に相応しい指導方法の修得や指導能力の向上に努めること。</p>	<p>【意見伺い】遵守事項</p>	<p>教員間の理解促進を図るため、設置認可以降、融合学域の専任教員を中心とした学域FD「先導学類教員意見交換会」をオンラインで開催している。毎回テーマを設定（文理融合教育、インターンシップ等）し、兼担者も含む教員間で、先導学類における学修指導や演習の在り方等について相互理解を図っている。また、その結果を先導学類に関わる教職員全員にフィードバックすることによって、学類全体での意思統一と更なる改善を図っている。（3）</p> <p>教員間の理解促進を図るため、学域FDとして「先導学類教員意見交換会」を実施してきたところであり、令和3年度も引き続き実施した。また、新たに観光デザイン学類の専任教員による「観光デザイン学類教学FD」を令和3年度に開催しており、両学類の専任教員が双方の意見交換会等に参加することで、学類全体としての意思統一と学修指導や演習の在り方についての相互理解を図っている（4）</p> <p>ガイダンスでは、学修段階に応じて、学びの計画書作成の指導を行い、卒業までの学修計画策定や各学生の課題設定の支援を行っている。また、令和5年度からは就職委員会を設置し、就職支援を開始した。FDに関しては、従来の「先導学類教員意見交換会」も残しつつ、月1回定期開催の「学域FD研修会」に主軸を移した。学類の専任教員、兼担教員が参加し、毎回様々なテーマで意見交換を行い、情報共有を図っている。それに加え、各教員の研究紹介も定期的に行い、相互理解を深めている。（5）</p>	<p>履行済</p>	<p>令和3年4月に学域長・学類長による入学者ガイダンスを、令和3年5月～6月にかけて、1年次の担任による基盤ガイダンスを実施しており、その結果や課題等を「先導学類教員意見交換会」等を通じて教員全体にフィードバックする等、更なる指導方法の向上に努めている。（3）</p> <p>学年進行に合せた各種ガイダンスを着実に実行し、その結果や課題等を学域FDを通じて教員全体にフィードバックする体制の構築により、指導能力の向上や指導方法の修得に努める。（4）</p> <p>学年進行に合せた各種ガイダンスを着実に実行し、その結果や課題等については、学域FDを通じて教員全体にフィードバックする。融合学域では3学類設置が完了し、「学域FD研修会」が軌道に乗ったため、この体制を維持し、引き続き、指導能力の向上や指導方法の修得に努める。（5）</p>
<p>(令和2年)</p>					

<p>認可時</p> <p>(令和2年)</p>	<p>手厚い学習指導体制の構築に向けた各取組の関連性や運営体制が不明確なため、一定の記載はあるものの、大学として実効性のある仕組みや教員の支援策をより明確化し、学内外に対して丁寧に説明・周知するよう努めること。</p>	<p>【意見伺い】遵守事項</p>	<p>融合系教育研究会議の下に設置した「教務・学生生活委員会」（専任教員4名及び融合系事務部学生課長の計5名で構成）が中心となり、学修指導全般に渡る詳細な制度設計を行い、学生に周知した。また、ガイダンスや1年次第1クォーターに開講する導入科目等を通じて学生に履修指導等の方法について詳細説明を行ったほか、学外に対しては現在改訂予定のパンフレットやWebサイトを通じて学内外へ広く周知することとしている。(3)</p> <p>教務・学生生活委員会が中心となって学修指導全般に渡る制度設計を引き続き行っている。1年次第1クォーターに開講する導入科目等を通じて学生に履修指導等の詳細を説明したのに続き、12月にはオーダーメイド型の履修指導に必要となる「学びの計画書」の作成について、学生を対象とした説明会を開催し、その運用を開始した。また、各種パンフレット等の印刷物、Webサイト等に本学類の履修指導に関する説明を掲載し、学内外に周知した。(4)</p> <p>毎月定期開催している「学域FD研修会」は、学生にも案内し、教育内容や学生生活の改善等の検討に学生も加わえ、情報を共有している。また、教務・学生生活委員会で、日頃学生から寄せられる質問をQ&amp;A形式で取りまとめ、融合学域在学生用のLMS（学習管理システム）に掲載した。更に、融合学域パンフレットにも志願者等から寄せられるよくある質問をまとめ、Q&amp;A形式で掲載し、分かりやすく丁寧な説明に努めた。(5)</p>	<p>履行済</p>	<p>令和3年4月に実施した入学者ガイダンスや令和3年5月～6月にかけて実施した基盤ガイダンスの結果を受け、その内容や課題を教員間で情報共有し、有効な学修指導体制の構築を図る。また、学外に対しては、パンフレットやWebサイトの更新を行う予定としており、その中で丁寧な説明に努めることとしている。(3)</p> <p>引き続き学生等に対する説明会の開催等、その周知に努めるとともに、「学びの計画書」の運用により生じた課題等を検証し、より実効性を高めていくこととしている。(4)</p> <p>引き続き学生や志願者からの意見も吸い上げながら、支援体制等のより分かりやすく丁寧な説明に取り組む。(5)</p>
<p>認可時</p> <p>(令和2年)</p>	<p>社会人学生への対応について、自社でのインターンシップも想定されているが、本学類が一般的に想定するインターンシップとの違いを踏まえ、単位認定の方法やプログラムの内容を明確にするとともに、学生に対して分かりやすく説明し、多様なインターンシップが実施できるよう体制整備等に努めることが望ましい。(助言事項)</p>	<p>【事前伺い】助言事項</p>	<p>多様なインターンシップの実施に向け、本学域が目指す養成する人材像とインターンシップの内容等について企業等へ丁寧に説明し、多数の企業から賛同を得ている。また、社会人学生のインターンシップの対応については、さらにブラッシュアップし、その内容や趣旨が一般学生と差異が無いよう、今年度の4月に設置した教務・学生生活委員会等において検討を行っている。(3)</p>	<p>履行済</p>	<p>学生のインターンシップ系科目は2年次から開始するため、教務・学生生活委員会等を中心に今年度中に社会人学生への対応を含め、実施にあたっての具体的な制度設計を決定していくこととしている。(3)</p>

<p>認可時</p> <p>(令和2年)</p>	<p>本学類の趣旨を踏まえれば、金沢大学に本学類を開設する必要性を説得力を持って説明する観点からも、石川・金沢の地域に根付く伝統産業や文化の振興について、共通科目だけでなく、より専門的に学ぶことができる科目を配置することが望ましい。(助言事項)</p>	<p>【事前伺い】助言事項</p>	<p>必修科目である「地域概論」をはじめ、共通教育科目には多数の石川・金沢の地域に根差した文化や産業を学ぶ科目を配置している。本学類では、他学類科目を積極的に履修することを推奨し、10単位まで卒業要件に算入可としており、専門的に学ぶ必要が生じた際にはバックキャストینگ学修により人間社会学域開講科目等の履修を指導することとしている。</p> <p>なお、基幹教育特設プログラム「総合地域論」を本学類においても制度化し、12単位修得で修了証を交付することとした。(3)</p>	<p>履行済</p>	<p>学生に対する履修指導の方法について引き続き教員間での意思統一を図り、その学生が目指す課題解決に応じて最適な履修が行えるよう、教員がバックアップできる体制を構築する。(3)</p>
<p>認可時</p> <p>(令和2年)</p>	<p>3つのコアエリアの名称について、一定の説明はあるものの、広く一般に理解されている概念や平易な言葉を使用し、学生等に対して分かりやすく周知・広報すること。また、設置計画書上、各コアエリアに配置されている科目の概要説明と、各コアエリアを設定するに至った理念・趣旨の説明が一部混在していたり、整合していないように見受けられる箇所があり混乱を招きかねないので、周知・広報の際は特に留意するとともに、学内で適切に共有し、本学域が目指す人材養成が行えるよう努めること。</p>	<p>【意見伺い】遵守事項</p>	<p>本学類の目指す人材養成目標や3つのコアエリアについて、設置認可後、北陸地区を中心に20を超える高校を教員が実際に訪問し、説明を行ってきた。さらに、融合学域独自のオンライン説明会を令和2年12月と令和3年1月にそれぞれ開催(延べ申込者数134名)し、参加した高校生や保護者等に対して丁寧な説明を行ったところである。その結果、一般選抜前期日程志願倍率3.53倍(全学平均2.42倍)へと繋がったものと判断する。また、入学後のガイダンス等においても引き続きコアエリアの詳細な説明を行っており、学生の間でも十分な理解に至っている。なお、人材養成に関する目的は学域規程にも明記した。(3)</p>	<p>履行済</p>	<p>学外への広報活動について、引き続きパンフレットやWebサイトの改訂を行い、コアエリアの説明や本学域が目指す人材像等を一層周知する予定としている。(3)</p>

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

**【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

**【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

**【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<融合学域 先導学類>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">該当なし</div>	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>融合系教育研究会議教務・学生生活委員会。 関係規程「金沢大学融合研究域等管理運営規程」添付。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>委員は、融合研究域の専任教員6名及び学生課長。 開催は、1か月に約1回。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>融合学域に係る教育課程、授業計画、学生指導・支援、教育改善及びFDなどを審議する。</p> <p>② 実施状況</p> <p>・ 先導学類教員意見交換会</p> <p>a 実施内容</p> <p>学生の留学プログラムをはじめ、教学に関する意見交換</p> <p>b 実施方法</p> <p>オンライン及び対面のハイブリッド開催</p> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>令和4年12月15日(木) 参加教員数:17名</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>学生の留学プログラムの実施方法等について意見交換を行い、派遣先の開拓を進める。</p>
--

・ 融合学域FD研修会

a 実施内容

毎回テーマに沿って意見交換を行う。(テーマ:現在の米国の現状/教育DX、融合学域でのFD、サバティカル研修報告、学年進行による新規授業科目の対応 他)

b 実施方法

オンライン及び対面のハイブリッド開催

c 開催状況(教員の参加状況含む)

毎月第3木曜日を基本として開催

令和4年7月25日(月) 参加教員数:20名

令和4年9月22日(木) 参加教員数:15名

令和4年10月20日(木) 参加教員数:12名

令和4年11月24日(木) 参加教員数:10名

令和4年12月22日(木) 参加教員数:17名

令和5年1月26日(木) 参加教員数:19名

令和5年3月23日(木) 参加教員数:18名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

米国やサバティカル研修実施国の教育、研究の実情を紹介し、今後の教育改善の参考とする。

授業評価アンケート結果を共有し、学生からの意見への対応等について意見交換を行う。

学類を設置してから2年であり、完成年度までの授業実施方法等の共有を継続する。

・ 研究シーズ紹介

a 実施内容

毎回、融合学域に所属する教員1名が、自身の研究を紹介し、融合研究のきっかけとする。

b 実施方法

対面開催

c 開催状況(教員の参加状況含む)

毎月の融合系教育研究会議(融合研究域全教員対象)に引き続き開催を基本とする。

令和4年7月14日(木) 参加教員数:27名

令和4年9月8日(木) 参加教員数:28名

令和4年10月13日(木) 参加教員数:23名

令和4年11月10日(木) 参加教員数:28名

令和4年12月8日(木) 参加教員数:30名

令和5年2月9日(木) 参加教員数:29名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

他教員の研究を理解し、相互の連携、融合研究を探る。

・ 全学FD研修会「新任教員説明会<教育・学生編>」

a 実施内容

アカンサスポータルサイト及び教務システムの活用、学生指導と支援、学生の心のケア及び学生相談

b 実施方法

対面

c 開催状況(教員の参加状況含む)

令和4年4月4日(月) 10:30-11:55 融合研究域教員4名が参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各教員が自身の授業や学生指導に活かす。

- ・ 第4回全学FD研修会「FD活動報告書成果発表会」—学類等における組織的FDの取組事例—
  - a 実施内容  
令和3年度に各部局で実施されたFD活動から、先導学類を営む6字類の取組を全学的に公開し、活動の共有と振り返りを図る。
  - b 実施方法  
オンライン開催
  - c 開催状況(教員の参加状況含む)  
令和4年10月28日(金)開催、融合研究域教員4名が参加
  - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  
他学類の取組も参考に、本学域としての授業改善に取り組む。
  
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実施時期  
クォーター毎に実施する。
  - b 教員や学生への公開状況、方法等  
学期毎に集計の上、本学Webサイトにて教職員及び学生に公開する。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況



#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  
施設整備，教員配置，カリキュラム設計など，設置計画どおりに達成している。
- ② 自己点検・評価報告書  
学内規程に基づき，定期的に，全学的な自己点検評価及び部局の自己点検評価を実施することとしている。
  - a 公表（予定）時期  
・自己点検を令和5年末までに公表予定
  - b 公表方法  
・大学Webサイト上に公開
- ③ 認証評価を受ける計画  
・令和3年度に，評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審し，適合の認定を受けた。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書(令和5年度)
- a 公表予定の有無 [  有 ・ 無 ]
- 《aで「有」の場合》
- b 公表(予定)時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]
- c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ・ その他( ) ]
- 《aで公表「無」の場合》
- d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。